

第13回

学生生活実態調査報告書

The Report on the 13th survey of NIFS Student's Life



令和8年3月

国立大学法人鹿屋体育大学

National Institute of Fitness and Sports in KANOYA

目 次

●	はじめに	1
●	学生生活実態調査の概要	2
●	調査の結果	
	Ⅰ 調査の実施状況	4
	Ⅱ 生活状況	5
	Ⅲ 健康状態	14
	Ⅳ 課外活動状況	18
	Ⅴ 大学生活の状況	22
	Ⅵ ハラスメント	27
	Ⅶ 学内施設利用状況	30
	Ⅷ 大学への意見・要望	32
	Ⅸ 大学に対する満足度	32
●	あとがき	33
●	参考資料 第13回学生生活実態調査アンケート項目一覧	34

はじめに

本調査は、本学学生の生活状況の実態を把握し、課外活動や健康管理などの学生が抱える諸問題に関する大学としての対応、ならびに就学指導に役立たせることを目的に行われています。調査は3年毎に行っており、今回で13回目となります。今回は新型コロナウイルス感染症の影響がまだ色濃く残っている令和5年度に行われました。

今回の調査では、近年めまぐるしい変化を遂げている社会情勢などを踏まえ、時代に即した調査項目への検討を行った上で、「生活状況」、「健康状態」、「課外活動状況」、「大学生活の状況」、「ハラスメント」、「学内施設の利用状況」などに関する事項を学部生、ならびに大学院生に対して行いました。

本学の特徴として、1、2年生時では1クラス10名程度での学生指導を行う小クラス制度、3、4年生時では各自の関心や進路により選択したゼミナールでの指導制度による少人数教育が挙げられます。このような仕組みの中で、担当教員との、または学生同士での人間関係を深め、充実した学生生活を送れるように取り組んでいます。他には、体育大学である本学では9割近くの学生が、何らかの課外活動団体に所属しています。それぞれが日々取り組んでいるスポーツ・武道の活動が、学生相互の連帯感や信頼感、倫理観、ならびに社会規範などを育み、個々の人間形成にも大きく関与していることも大きな特徴です。

本報告書が、全国から集まっている学生諸君が有意義な学生生活を送っていただくための手がかりとして、有効に活用されることを期待しています。また、教職員の方々にも、本報告書を様々な場面での学生指導に役立てていただければ幸いです。

最後になりましたが、本調査にご協力いただいた学生の方々、ならびに本調査の実施と報告書作成にご尽力いただきました関係の教職員の皆様方には、この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

令和8年3月

令和7年度学生委員会

委員長 藤田 英二

学生生活実態調査の概要

1. 調査目的

本調査（学生生活実態調査）は、本学学生の生活及び課外活動などの状況を把握し、学生の経済的実情及び課外活動などに対する意識や取組みを明らかにするとともに、今後の学生に対する支援事業等の改善充実を図るための基礎資料を得ることを目的として実施しています。

なお、本調査結果については分析した上で報告書を作成し、その報告書を今後の学生に対するより一層の支援事業等の改善充実を図るための基礎資料として活用します。

2. 調査実施組織

本調査については、本学常任委員会である学生委員会が担当し、実施しました。
同委員会の構成員（令和7年度）については、次のとおり。

委員長：藤田 英二 学長補佐（学生支援担当）・教授
副委員長：竹中 健太郎 学長補佐（競技力向上担当）・教授
委員：森 克己 教授 藤井 康成 教授 小澤 雄二 教授
梶 ちか子 教授 廣津 匡隆 教授 赤澤 暢彦 准教授
小森 大輔 准教授 坂口 俊哉 講師 幾留 沙智 講師
精松 恵美子 学生課長

3. 調査対象及び方法

本学に在学する学部学生全員 756 人及び大学院生全員 64 人（令和7年10月1日に在籍する正規生のうち休学者を除いた者）を調査対象としました。

今回の調査は、Microsoft Forms を利用したアンケート形式を用いて実施しました。
対象の学生数（在籍学生数）については次のとおりです。

学部生：令和7年10月1日現在

（単位：人）

学年 課程	1年 (令和7年度入学)	2年 (令和6年度入学)	3年 (令和5年度入学)	4年 (令和4年度以前入学)	計
スポーツ総合課程	130	127	147	150	554
武道課程	51	48	50	53	202
計	181	175	197	203	756

※休学者、非正規生は除く。

大学院生：令和7年10月1日現在

（単位：人）

学年 課程	1年 (令和7年度入学)	2年 (令和6年度以前入学)	計
修士課程	18	21	39

（単位：人）

学年 課程	1年 (令和7年度入学)	2年 (令和6年度入学)	3年 (令和5年度以前入学)	計
博士後期課程 または 3年制博士課程	8	7	10	25

4. 調査時期

調査基準日：令和7年10月1日

調査期間：令和7年10月1日（水）～10月23日（木）

5. 調査項目

調査項目については、前回の調査から新型コロナウイルス感染症に関する項目を削除する等、内容の調整を行いました。

I 基本事項、II 生活状況、III 健康状態、IV 課外活動状況、V 大学生活の状況、VI ハラスメント、VII 学内施設利用状況、VIII 大学への意見・要望、IX 大学に対する満足度

6. 調査結果の分析、報告書の作成

本調査の集計は学生課で行い、集計結果をもとに学生委員会委員が分析・報告書の執筆を行いました。なお、本報告書は電子ファイル（PDF）により、学内及び学外へ公式ホームページにて公開します。

I 調査の実施状況

学部学生 756 人（休学者、非正規生は除く）のうち、回答者は 550 人で回答率は 72.8%でした（前回調査の回答率は 80.0%）。課程別の回答率はスポーツ総合課程 75.3%、武道課程 65.8%でした。学年別の回答率をみると最も高いのは2年次生で 78.3%でした。次いで1年次生 74.0%、3年次生 73.6%、4年次生 66.0%であり、全学年とも前回調査よりは回答率が落ちる結果となりました。

大学院生については、修士課程の学生 39 人のうち、回答者は 34 人で回答率は 87.2%でした（前回回答率 62.5%）。博士後期課程または3年制博士課程の学生 25 人のうち、回答者は 19 名で回答率は 76.0%でした（前回回答率 39.3%）。大学院生では、いずれも前回調査より回答率が上がる結果となりました。

回答状況一覧（休学者、非正規生は除く）

【学部生】

学年	課程	スポーツ総合	武道	総計
		対象数	130	51
1年 (令和7年度入学)	回答数	101	33	134
	回答率	77.7%	64.7%	74.0%
	対象数	127	48	175
2年 (令和6年度入学)	回答数	102	35	137
	回答率	80.3%	72.9%	78.3%
	対象数	147	50	197
3年 (令和5年度入学)	回答数	116	29	145
	回答率	78.9%	58.0%	73.6%
	対象数	150	53	203
4年 (令和4以前入学)	回答数	98	36	134
	回答率	65.3%	67.9%	66.0%
	対象数	554	202	756
総計	回答数	417	133	550
	回答率	75.3%	65.8%	72.8%

【大学院生】

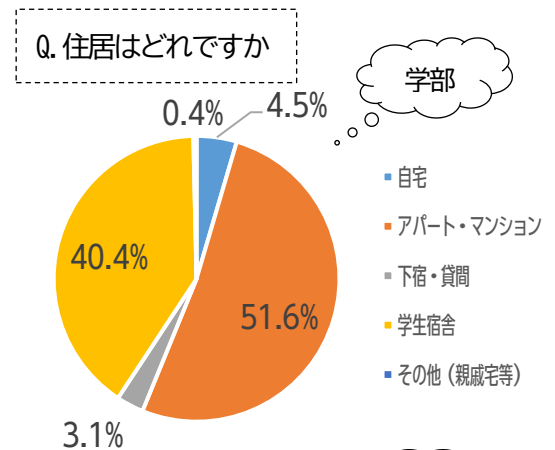
学年	課程	修士
		対象数
1年 (令和4年度入学)	回答数	15
	回答率	83.3%
	対象数	21
2年 (令和3年度以前入学)	回答数	19
	回答率	90.5%
	対象数	39
総計	回答数	34
	回答率	87.2%

学年	課程	博士後期課程 または 3年制博士課程
		対象数
1年 (令和4年度入学)	回答数	6
	回答率	75.0%
	対象数	7
2年 (令和3年度入学)	回答数	4
	回答率	57.1%
	対象数	10
3年 (令和2年度以前入学)	回答数	9
	回答率	90.0%
	対象数	25
総計	回答数	19
	回答率	76.0%

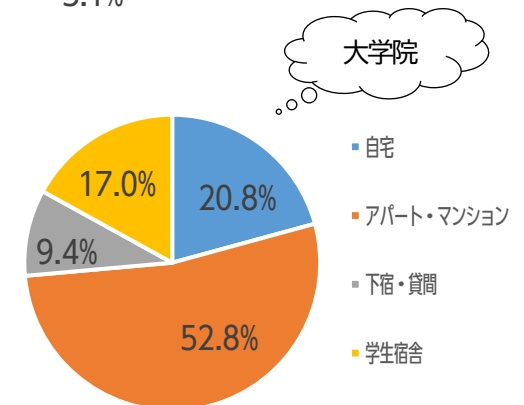
II 生活状況

1. 住居

学部生には、「アパート・マンション」51.6%、および「学生宿舎」40.4%で殆どを占めていますが、前回から若干ですが「アパート・マンション」が増加し、「学生宿舎」が減少となりました。また、「下宿・借間」3.1%、および「自宅」4.5%で若干減少となりました。



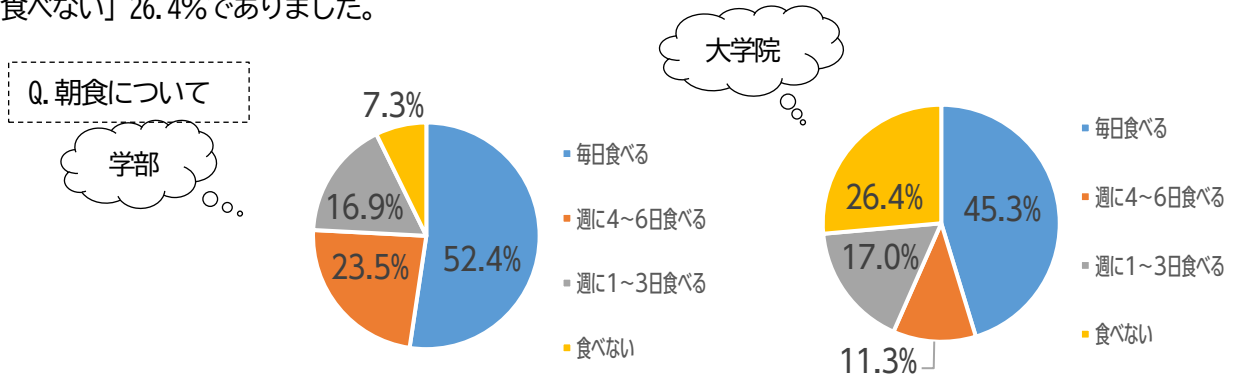
次に大学院生ですが、「アパート・マンション」52.8%、「下宿・借間」9.4%、「学生宿舎」17.0%、「自宅」20.8%でありました。



2. 食事

(1) 朝食について

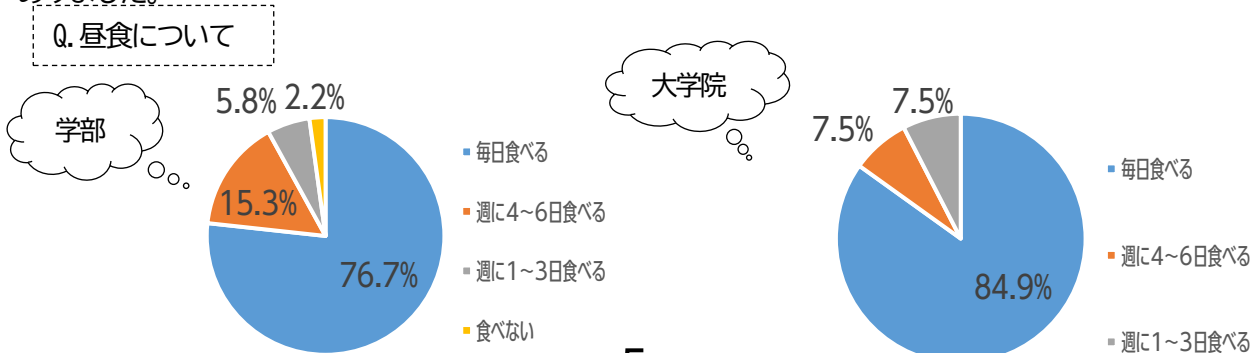
学部生では、朝食を「毎日食べる」と答えた学生は52.4%で、前回から若干ですが減少となりました。「食べない」7.3%、「週に1~3日食べる」16.9%という欠食が多い学生もいることから、改善が必要と考えられます。次に大学院生ですが、「毎日食べる」45.3%、「週に4~6日食べる」11.3%、「週に1~3日食べる」17.0%、「食べない」26.4%でありました。



(2) 昼食について

学部生では、昼食は「毎日食べる」が76.7%で、前回から若干ですが減少となりました。競技種目によっては減量を必要とする競技もあり、この学生が毎日食べる以外の割合に含まれていることも考えられます。

次に大学院生ですが、「毎日食べる」84.9%、「週に4~6日食べる」7.5%、「週に1~3日食べる」7.5%でありました。

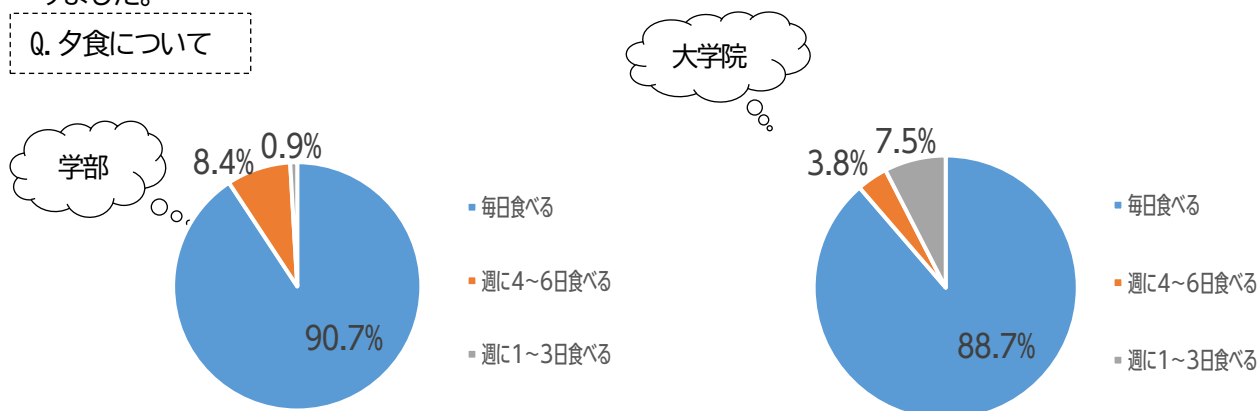


(3) 夕食について

学部生では、夕食は「毎日食べる」が90.7%、一方で、1割ほどの学生が週に1日以上夕食を食べないという点が、前回同様の結果であることから、規則正しい生活、食習慣について経過をみる必要があると考えられます。

次に大学院生ですが、「毎日食べる」88.7%、「週に4~6日食べる」3.8%、「週に1~3日食べる」7.5%でありました。

Q. 夕食について

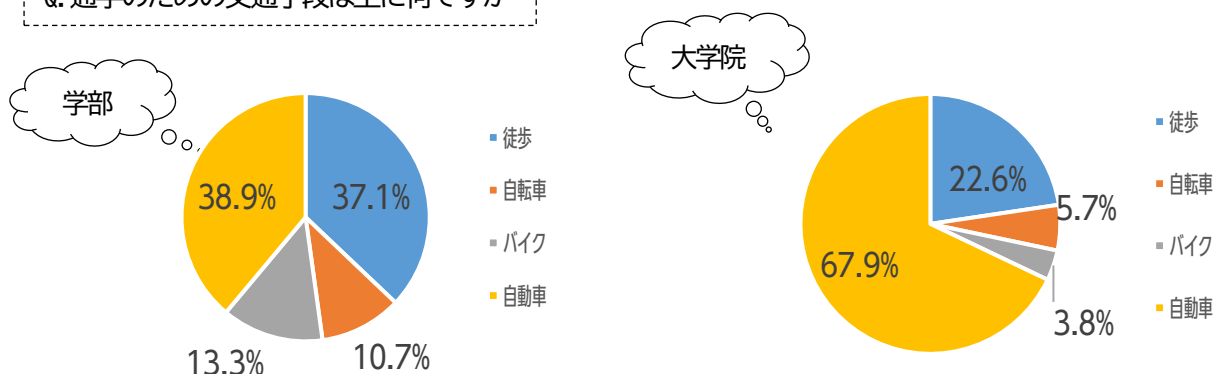


3. 通学のための交通手段

学部生では、「自動車」が38.9%と最も多く、次いで「徒歩」37.1%、「バイク」13.3%、「自転車」10.7%の順で、前回同様の結果となりました。この1年、「自転車」や「バイク」から「徒歩」や「自転車」での通学に移行した学生が増えたことがうかがえます。

次に大学院生ですが、「自動車」67.9%、「自転車」5.7%、「バイク」3.8%、「徒歩」22.6%でありました。

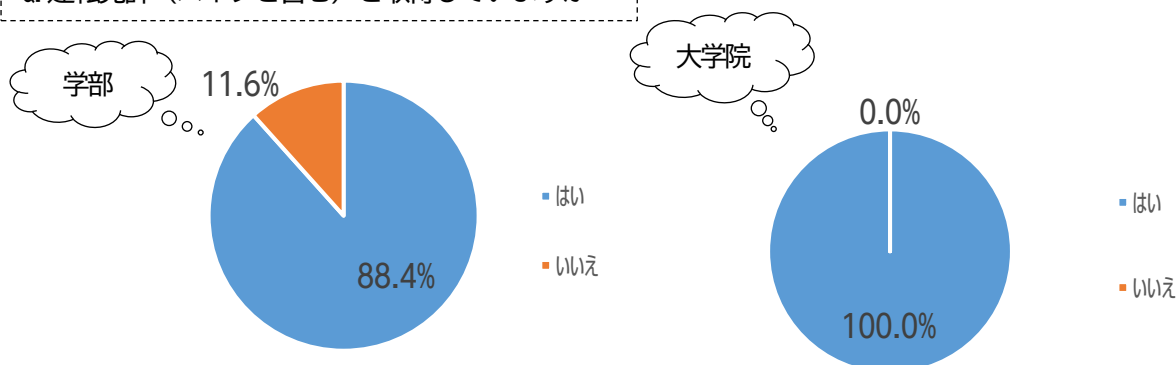
Q. 通学のための交通手段は主に何ですか



4. 運転免許の取得

学部生では、「はい」と答えた学生は88.4%で、9割ほどが自動車又はバイクの運転免許を取得していました。次に大学院生ですが、「はい」が100%でありました。

Q. 運転免許（バイクを含む）を取得していますか



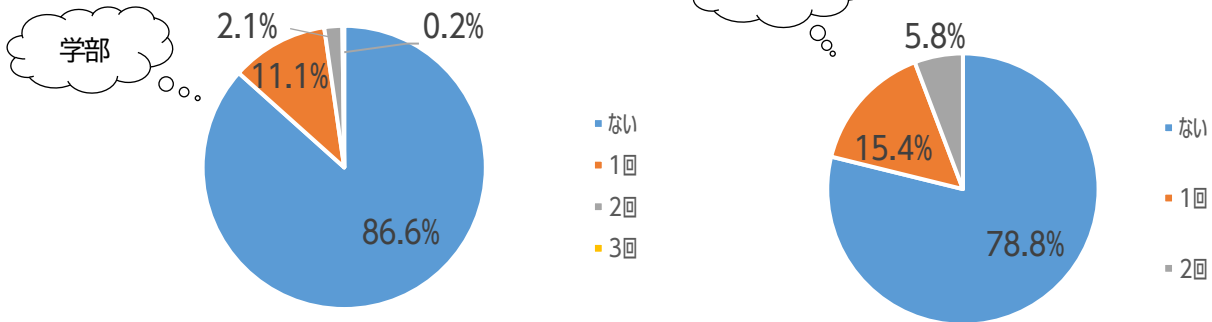
5. 交通違反

(1) 入学後の交通違反回数

学部生では、「ない」と回答した学生は86.6%で、前回の調査の82.6%よりも増えています。一方、2回以上の違反者は2.3%でした。前回の調査よりも、交通違反者が減少していることがうかがえます。学生の交通ルールに対する意識が向上していることが考えられますが、引き続き交通安全に対する取組を継続していくことが必要です。

次に大学院生ですが、「ない」78.8%、「1回ある」15.4%、「2回ある」5.8%でありました。

Q. 入学後交通違反をしたことがありますか

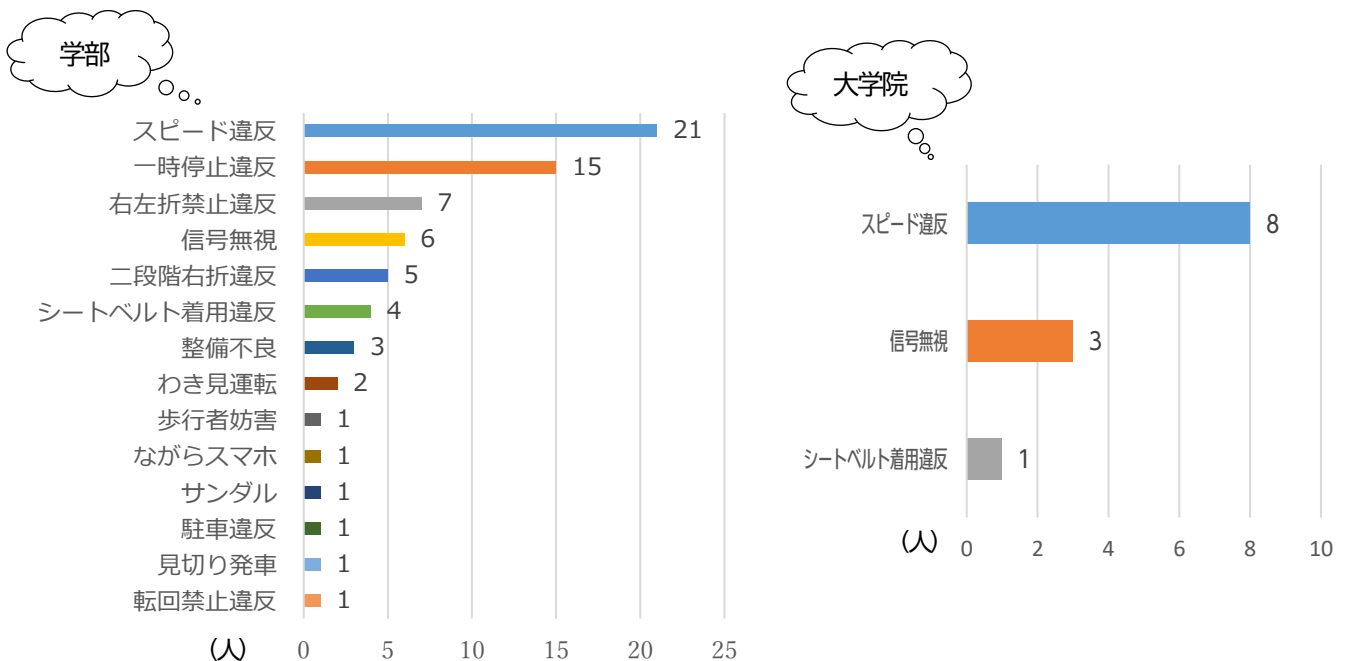


(2) 交通違反の種類

学部生では、「スピード違反」21件が最も多く、次いで「一時停止違反」15件、「左右折禁止違反」7件、「信号無視」6件となっています。違反者が減少しているとはいえ、大学として交通安全の啓発活動が必要といえます。

次に大学院生ですが、「スピード違反」8件、「信号無視」3件、「シートベルト着用違反」1件となっています。

Q. 交通違反をした人にお尋ねします。どんな違反でしたか。(複数回答可)

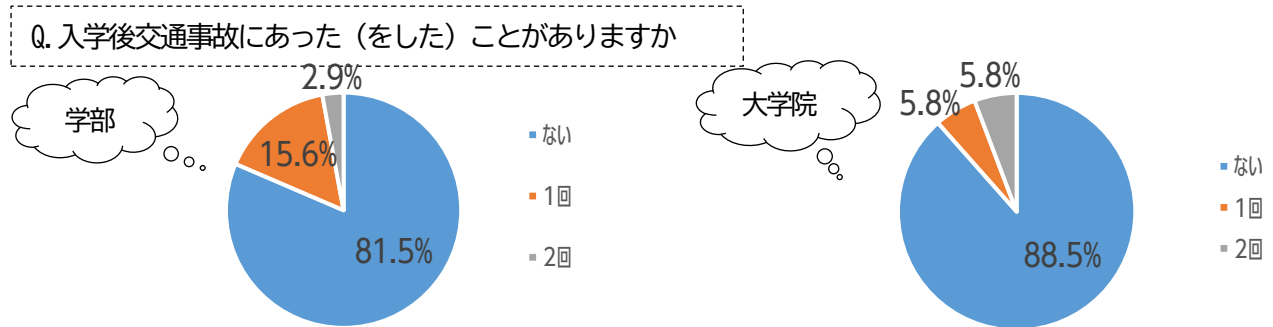


6. 交通事故

(1) 入学後の交通事故

学部生では「ない」が81.5%、「1回」が15.6%、「2回」が2.9%で、全体的には前回から若干ですが増加となりました。交通事故には未然に防ぐことができる場合とできない場合がありますが、今後も学生の交通マナーを向上させることが重要といえます。

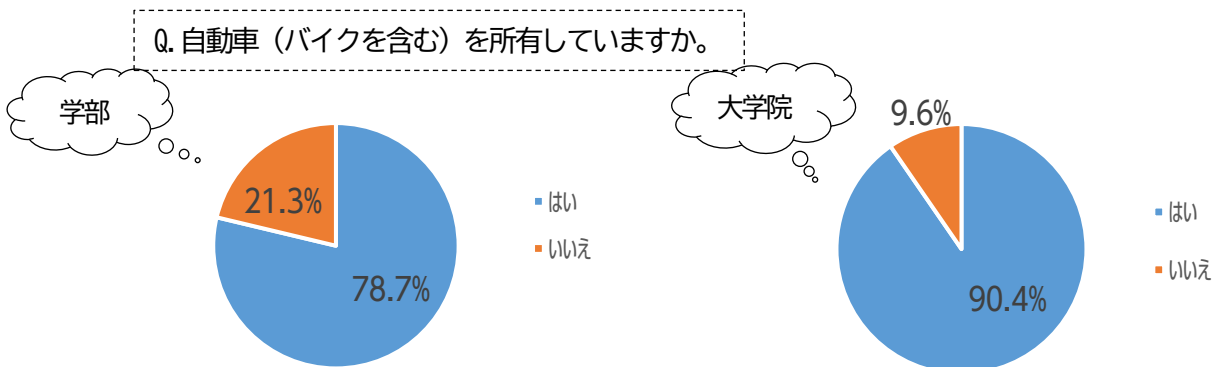
次に大学院生ですが、「ない」88.5%、「1回」5.8%、「2回」5.8%でありました。



(2) 自動車、バイクの所有

学部生では、8割ほどの学生が自動車もしくはバイクを所有していました。

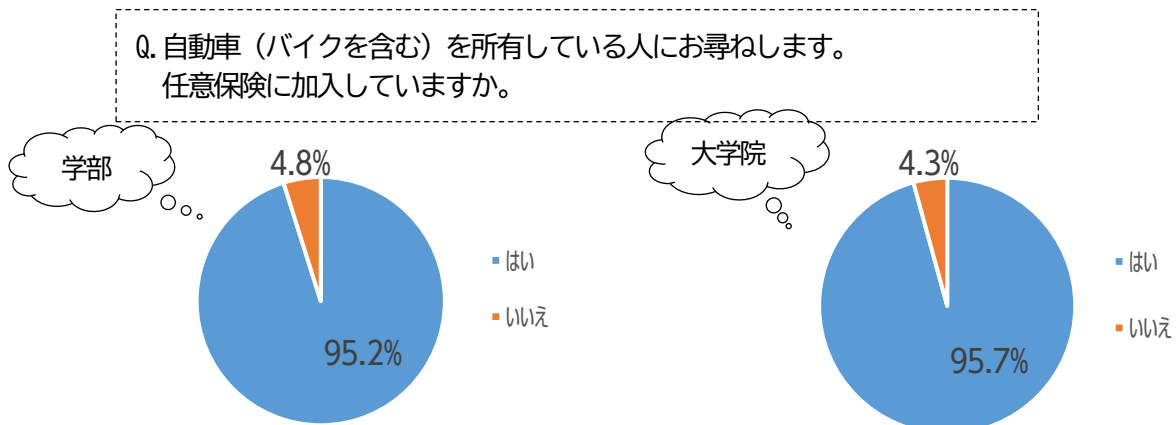
次に大学院生ですが、「はい」90.4%、「いいえ」9.6%でありました。



(3) 任意保険の加入状況

「はい」と回答した学部生は95.2%で、前回の調査の96.0%よりも任意保険の加入者が減っています。万が一の事故に備え、任意保険の加入を強く呼びかける必要があると考えられます。

次に大学院生ですが、「はい」95.7%、「いいえ」4.3%でありました。

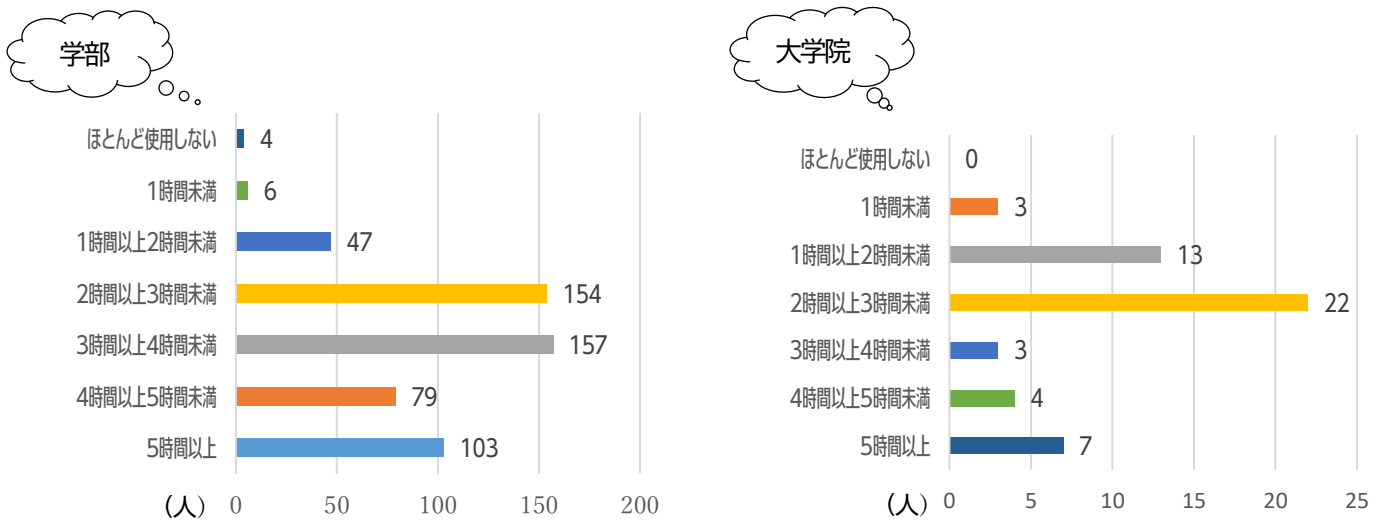


7. 学修目的以外のインターネット・携帯電話・スマートフォン等の使用状況

学部生では、「3時間以上4時間未満」157人が最も多く、次いで「2時間以上3時間未満」154人、「5時間以上」103人となっています。前回の調査時も前々回より時間増が見受けられていましたが、今回調査でもさらに全体的に利用時間が増し、1時間以上使用する学生の割合は98%を超えており、通信端末の利用が生活の一部になっていることがうかがえます。この傾向は引き続いており、利用方法によっては、学業の妨げとなるだけでなく、事件・事故の誘発や身体・精神的問題に発展することも懸念されます。大学として利用方法に関するリテラシーを高める活動が必要であると考えられます。

次に大学院生ですが、「2時間以上3時間未満」22人、「1時間以上2時間未満」13人、「5時間以上」7人でありました。

Q. 学修目的以外でインターネット・携帯電話・スマートフォンを1日平均どのくらい使用していますか



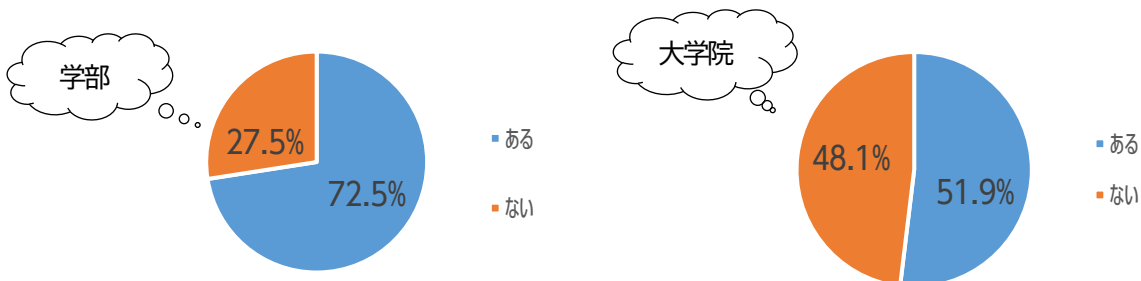
8. アルバイト経験と紹介元

(1) 今年度のアルバイト経験

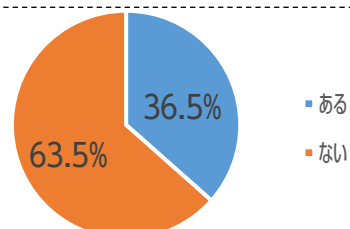
学部生では、前回の調査に比べ、アルバイト経験者が増加し、「ある」が72.5%、「ない」が27.5%で、7割ほどの学生はアルバイトに従事していることとなります。

次に大学院生ですが、「ある」が51.9%、「ない」が48.1%でありました。また、現在の常勤または非常勤で勤務している就職先の有無について、「ある」が36.5%、「ない」が63.5%でありました。

Q. 今年度、アルバイトをしたことがありますか（していますか）



Q. (大学院のみ) 現在、常勤または非常勤で勤務している就業先がありますか？

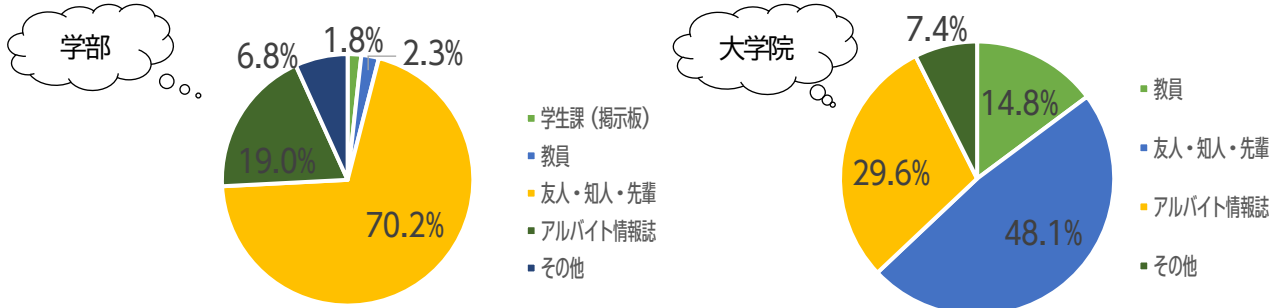


(2) アルバイトの主な紹介元

学部生では、前回の調査と同様に、「友人・知人・先輩」が最も多く 70.2%、次いで「アルバイト情報誌」19.0%、「その他」6.8%の順となりました。個人の人脈を通じてアルバイトが紹介される場合が多いようですが、前回の調査よりも「その他」が増えていました。

次に大学院生ですが、「友人・知人・先輩」48.1%、「アルバイト情報誌」29.6%「教員」14.8%、でありました。

Q. アルバイトの主な紹介元はどこですか

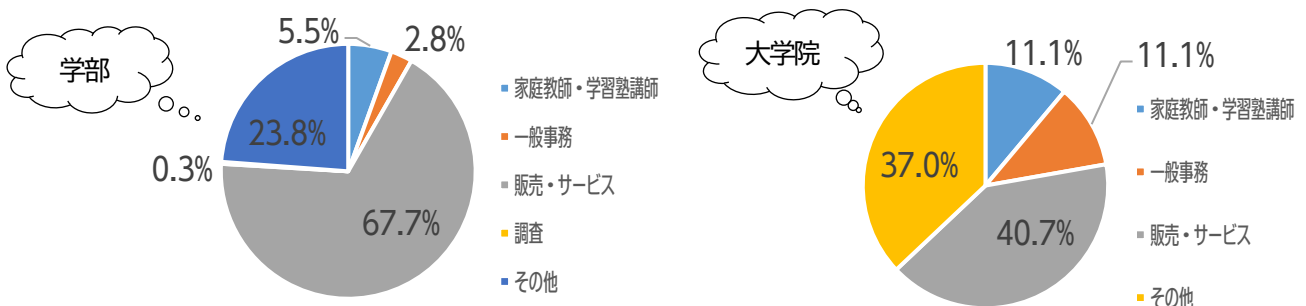


(3) アルバイトの職種

学部生では、「販売・サービス」67.7%が最も多く、「その他」23.8%、「家庭教師・学習塾講師」5.5%となっています。

次に大学院生ですが、「販売・サービス」40.7%、「一般事務」11.1%、「家庭教師・学習塾講師」11.1%、「その他」37.0%でありました。

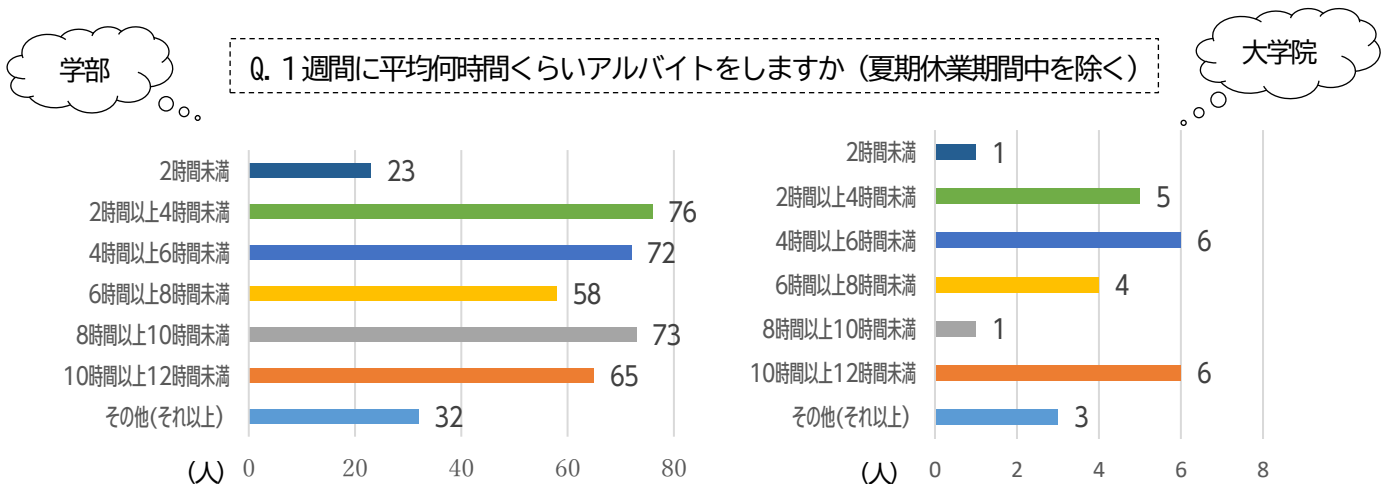
Q. アルバイトの職種は何ですか



(4) 1週間の平均アルバイト時間 (夏期休業中を除く)

学部生では、前回の調査と異なり、「2時間以上4時間未満」76人が最も多く、次いで「8時間以上10時間未満」73人、「4時間以上6時間未満」72人、「10時間以上12時間未満」65人となっています。前回よりも、アルバイト時間が長い学生が増えていることがうかがえます。

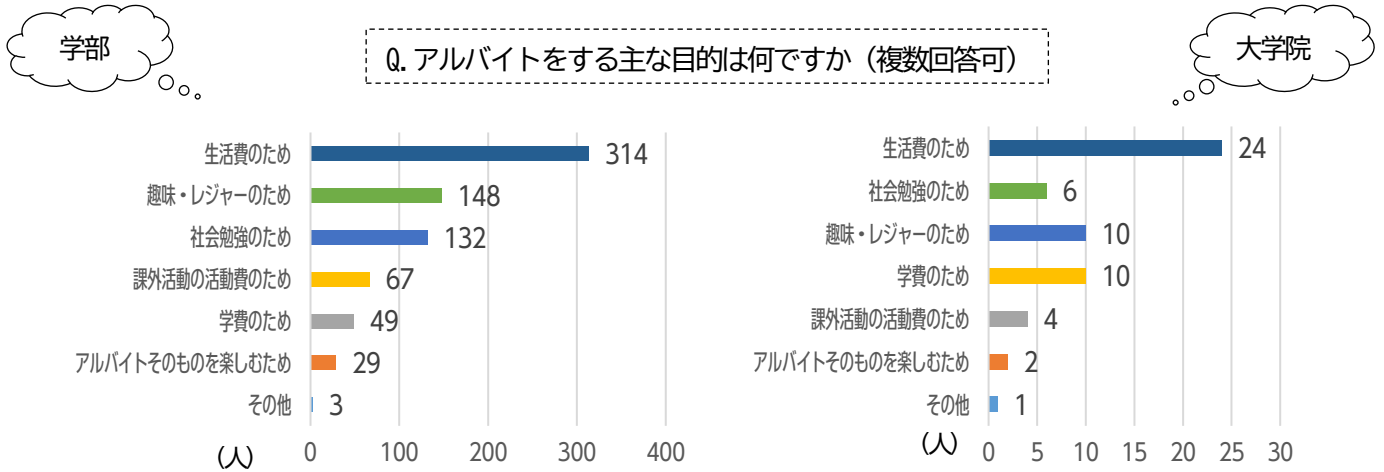
次に大学院生ですが、「4時間以上6時間未満」6人、「10時間以上12時間未満」6人、「2時間以上4時間未満」5人、「6時間以上8時間未満」4人でありました。



(5) アルバイトの主な目的

学部生では、前回の調査と同様に、「生活費のため」314人が最も多い結果となりました。次いで、「趣味・レジャーのため」148人、「社会勉強のため」132人となっています。また前回の調査と比較すると、「生活費のため」にアルバイトをする学生が増えていることがうかがえます。

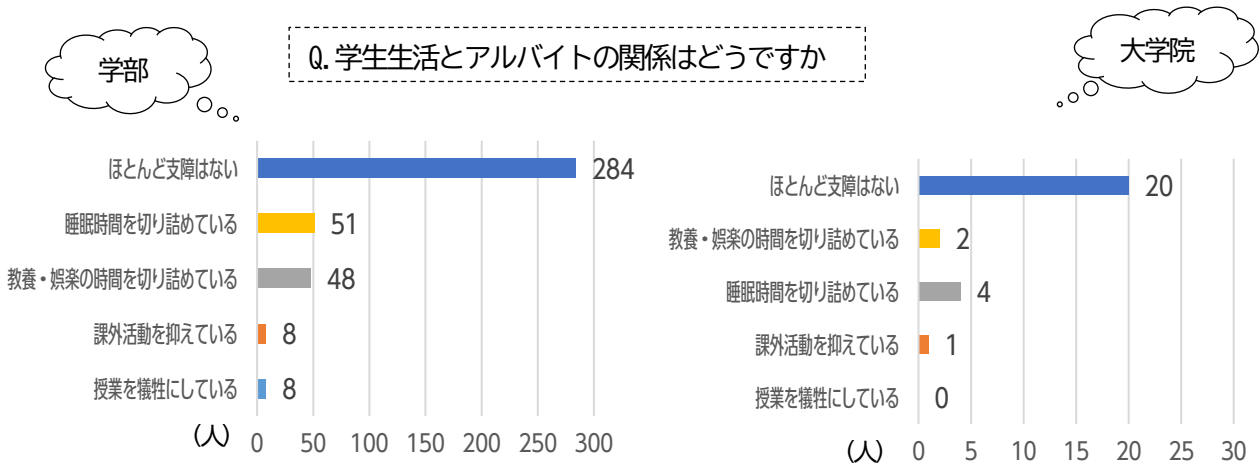
次に大学院生ですが、「生活費のため」24人、「趣味・レジャーのため」10人、「学費のため」10人でありました。



(6) 学生生活とアルバイトとの関係

学部生では、前回の調査と同様に、「ほとんど支障はない」284人が多数を占めています。しかしながら、「睡眠時間を切り詰めている」51人、「教養・娯楽の時間を切り詰めている」48人で、これらの学生も一定数いることから、学業や課外活動への影響が懸念されます。

次に大学院生ですが、「ほとんど支障はない」20人、「睡眠時間を切り詰めている」4人「教養・娯楽の時間を切り詰めている」2人でありました。

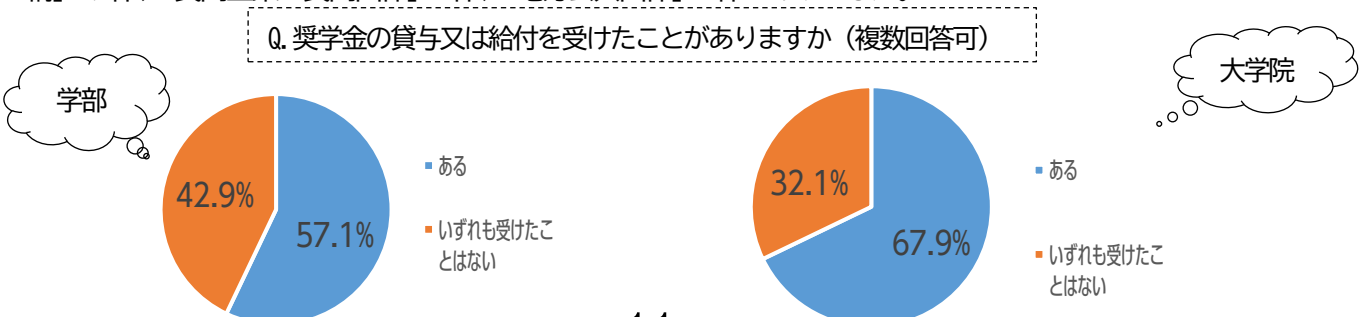


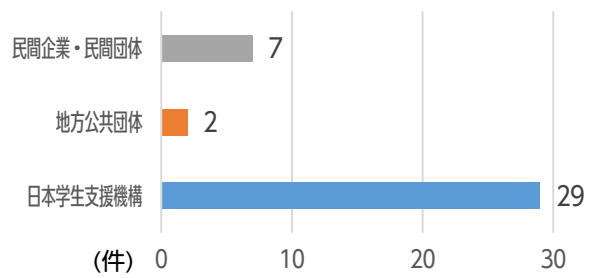
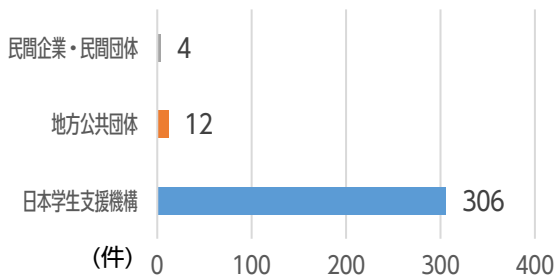
9. 奨学金

(1) 奨学金の支給貸与元

学部生では、奨学金の貸与または給付を受けたことが「ある」が57.1%、「ない」が42.9%でありました。奨学金の種類としては、「日本学生支援機構」306件、「地方公共団体」12件、「民間企業・民間団体」4件となっています。

次に大学院生ですが、「ある」が67.9%、「ない」が32.1%であり、奨学金の種類としては、「日本学生支援機構」29件、「民間企業・民間団体」7件、「地方公共団体」2件でありました。

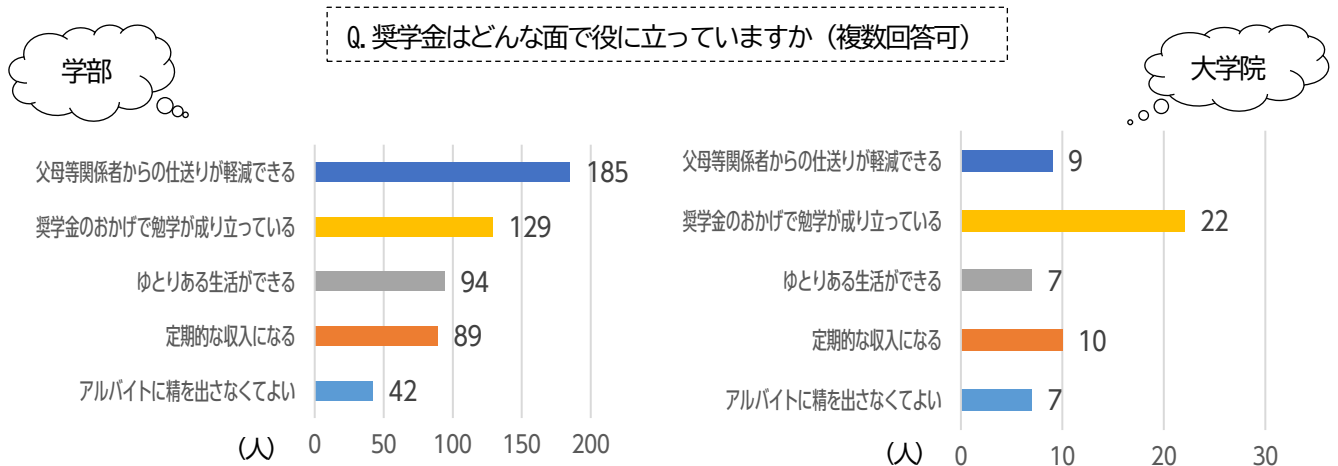




(2) 奨学金の役に立っている点

学部生では、前回の調査と同様に、「父母等関係者からの仕送りが軽減できる」185人が最も多く、次いで「奨学金のおかげで勉学が成り立っている」129人、「ゆとりある生活ができる」94人、「定期的な収入になる」89人、「アルバイトに精を出さなくてよい」42人となっています。

次に大学院生ですが、「奨学金のおかげで勉学が成り立っている」22人、「定期的な収入になる」10人、「父母等関係者からの仕送りが軽減できる」9人、「ゆとりある生活ができる」7人、「アルバイトに精を出さなくてよい」7人であります。

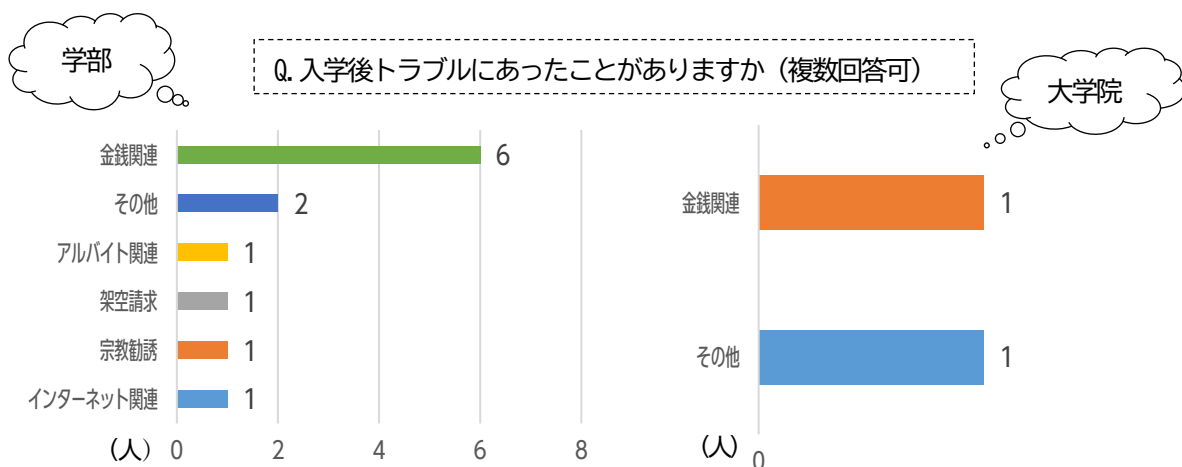


10. 入学後のトラブル

(1) 入学後のトラブルの経験

学部生では、「金銭関連」6件、「その他」2件、「アルバイト関連」1件、「架空請求」1件、「宗教勧誘」1件、「インターネット関連」1件の延べ12件となっています。予防や対処法の啓発活動を引き続き行っていく必要が考えられます。

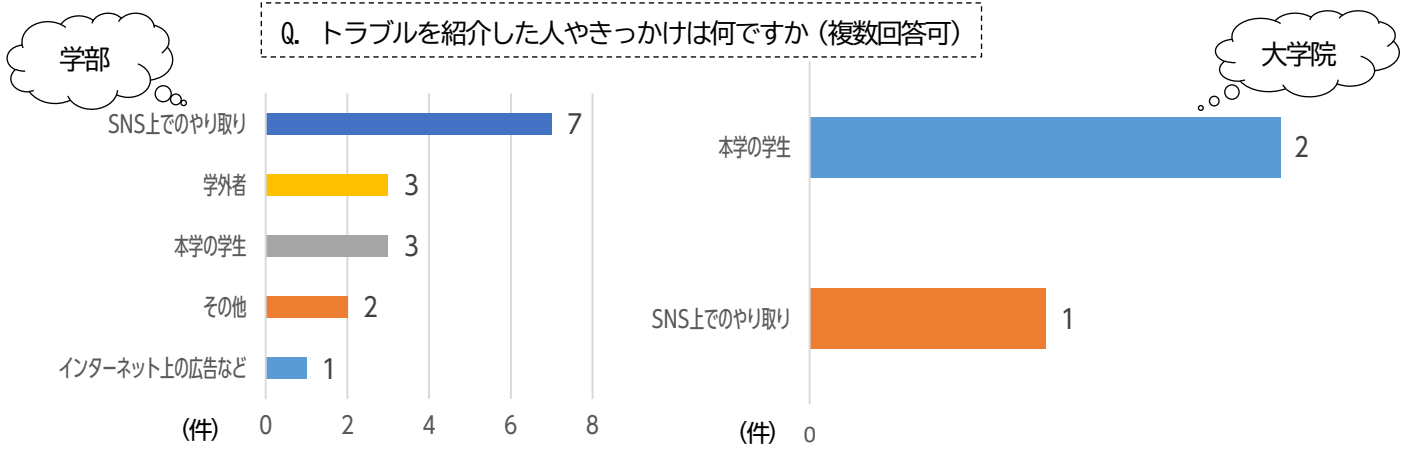
次に大学院生ですが、「金銭関連」1件、「その他」1件であります。



(2) トラブルを紹介した人やきっかけ

学部生では、「SNS上でのやり取り」7件、「学外者」3件、「本学の学生」3件、「その他」2件、「インターネット上の広告など」1件の延べ16件となっています。

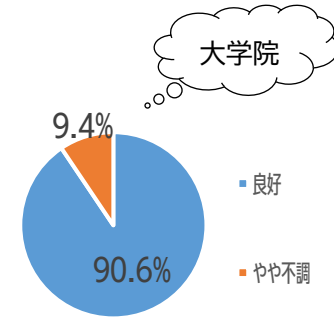
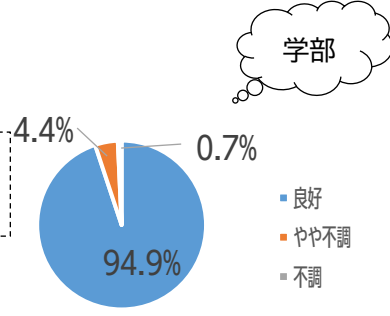
次に大学院生ですが、「本学の学生」2件、「SNS上でのやり取り」1件でありました。



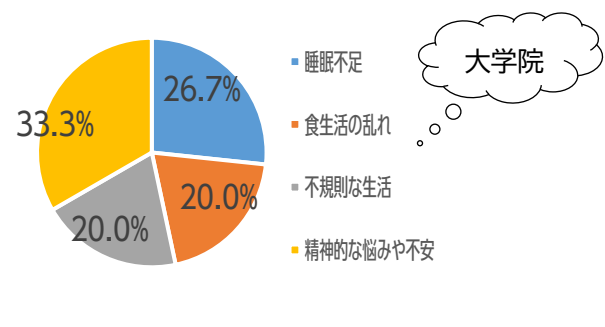
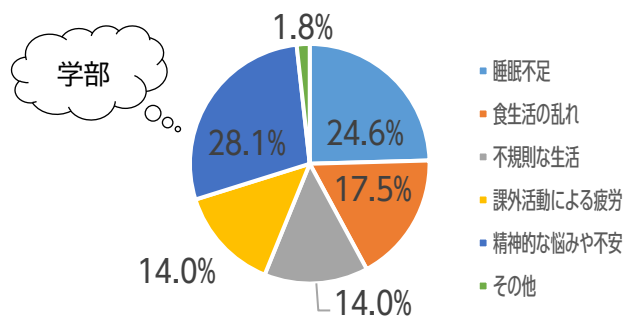
Ⅲ 健康状態

(1) 現在の健康状態

Q. 現在の健康状態はどうか？



Q. 「やや不調」「不調」と答えた原因は何ですか（複数回答可）



現在の健康状態について「良好」と答えた学生は、学部生が94.9%、大学院生が90.6%で、ほとんどの学生が健康状態は良いと感じているようです。一方で「やや不調」あるいは「不調」と答えた学生もいました。「やや不調」あるいは「不調」の原因として、学部生では「精神的な悩みや不安」が最多で、28.1%でした。一方、大学院生では、「精神的な悩みや不安」は、前回調査では11.1%と学部生の約半数でしたが、今回は33.3%とほぼ同じ結果を示しました。「不規則な生活」の回答がその分減少しており、生活リズムについては、大学院生では、改善傾向にあるのかもしれませんが。

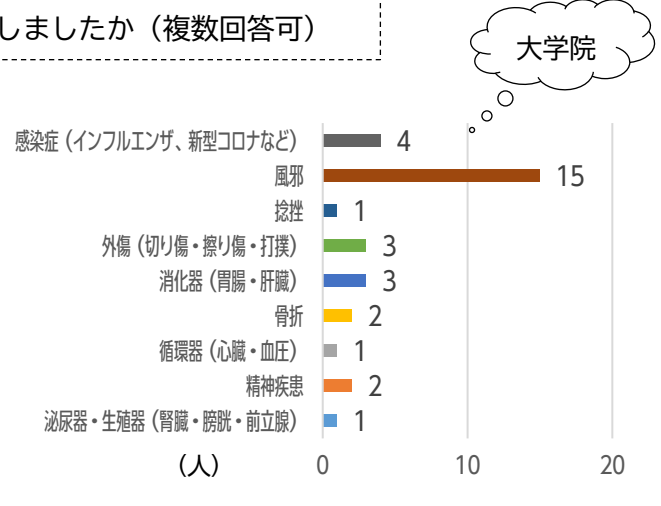
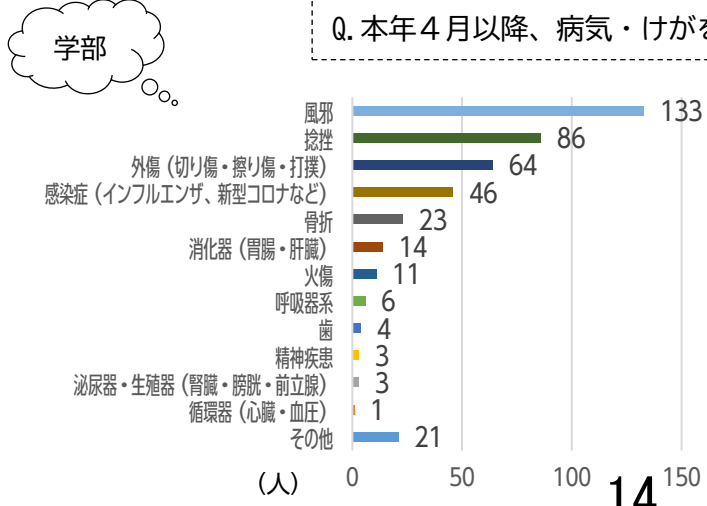
前回と同じく、学部生では「課外活動による疲労」が14%見られたものの、大学院生では本回答は見られませんでした。「睡眠不足」「食生活の乱れ」「不規則な生活」などの回答は、学部生と大学院生に共通して多く見られる傾向でした。

(2) 今年度の病気・ケガの状況

病気別の罹患人数については、今回は、新型コロナやインフルの申告義務がある意味緩くなった影響か、風邪の回答が、特に学部生で133人と突出していました。風邪の症状が出て、積極的に新型コロナやインフルの検査受診をしないまま、学生生活を行っているケースもかなり多いのではと考えられます。昨今、学内でほとんどマスクを装着している学生を見かけなくなっており、潜在化に新型コロナやインフルが流行する可能性も少なからず予想されます。感染症流行時には、マスク着用などの感染予防対策を励行するなど、全学での感染予防も必要かもしれません。

捻挫と外傷は前回と同様に多く見られました。スポーツアクティビティの高い本学学生については、ある意味致し方ない結果なのかもしれませんが、できれば自主的なコンディション作りを習慣づけられれば、予防による減少が少しでも期待できるのではと思います。

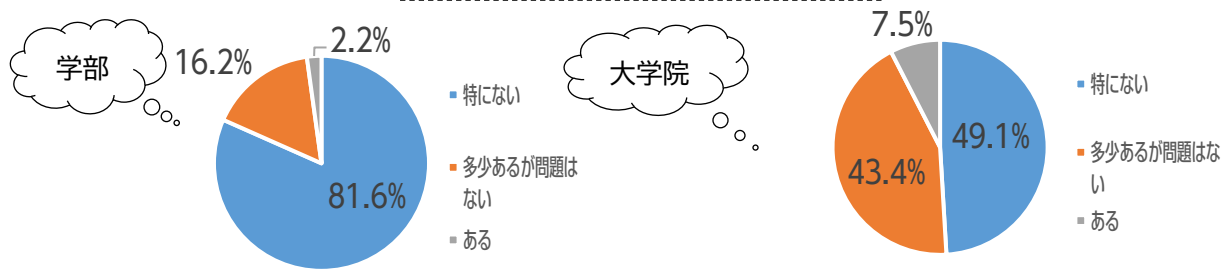
Q. 本年4月以降、病気・けがをしましたか（複数回答可）



(3) 悩みや不安はありますか？

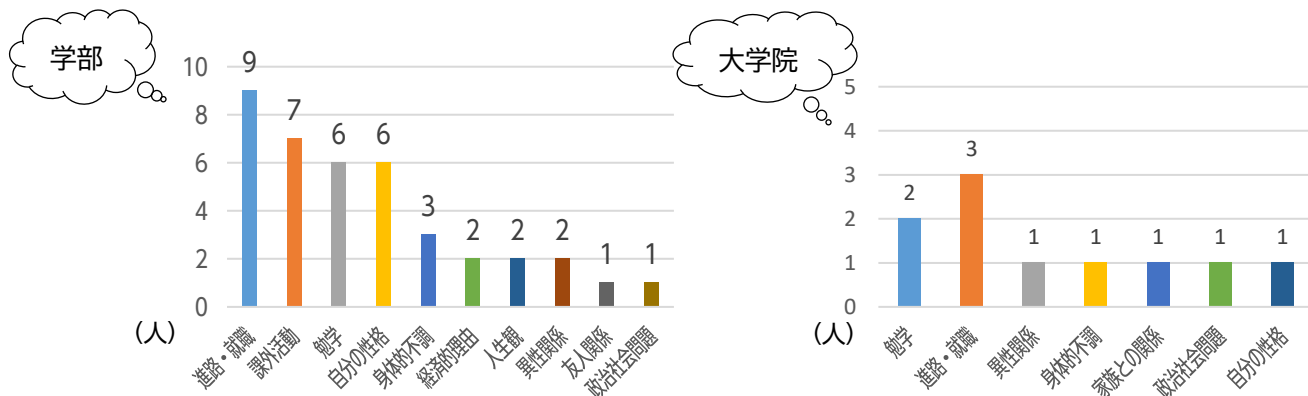
悩みや不安が「特にない」と答えた学部生は81.6%で、ほぼ前回と同じ結果でした。「ある」と答えた学部生は2.2%で、こちらも前回とほぼ同じ結果でした。大学院生では「ある」と答えた人が7.5%で学部生よりも多くなっていました。

Q. 現在、悩みや不安はありますか



悩みや不安の原因としては「進路・就職」が学部生、大学院生ともに最多でした。次いで学部生では「課外活動」、大学院生では「勉学」が挙げられました。やはり「進路・就職」が、学生、大学院生にとって将来を見据えた大きな問題であることを如実に示す結果でした。

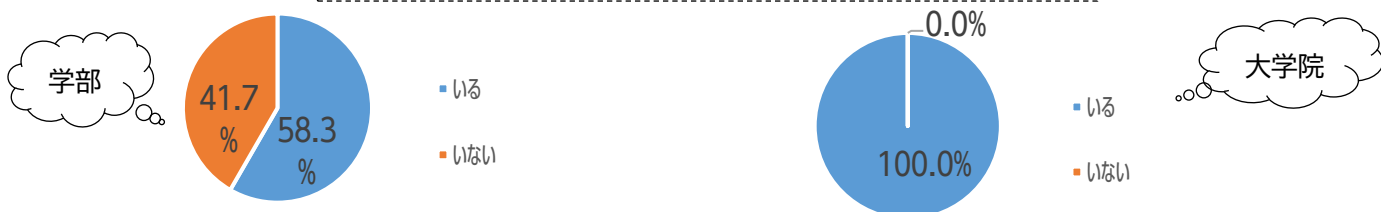
Q. あなたの持っている悩みや不安はどんなことですか



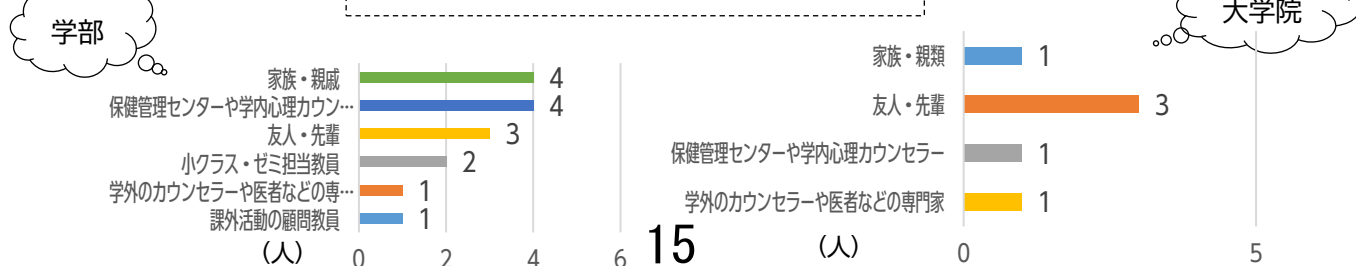
学部生では、身近な相談相手が「いる」と答えた人は58.3%で、前回の61.5%と大きな変化はありませんでした。相談している相手は「家族・親戚」とともに「学内カウンセラー」が一番多く、カウンセラーの存在が学内に広く認知されてきている結果ではないかと考えられます。小差で前回最多だった「友人・先輩」が次いでいました。

大学院生では、身近な相談相手が「いる」の回答が100%と前回の25.0%を大きく上回りました。非常に喜ばしい結果であり、この結果が今後も継続されることを強く望みます。前回とどこが異なるのが詳細に調査したいところです。大学院生の相談相手として、学内、学外のカウンセラーが上がっており、学部生も含めて、カウンセラーの認知度が高まってきているのかもしれない。

Q. あなたの悩みについて相談できる身近な人がいますか



Q. どの人に相談しますか（複数回答可）



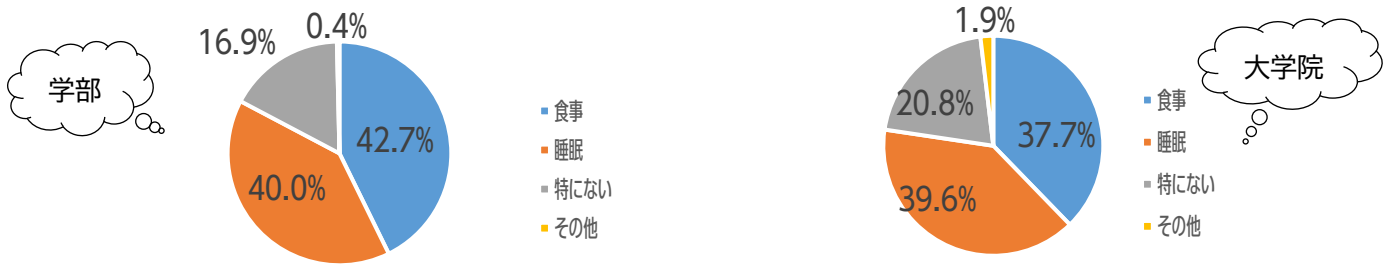
(4) 健康維持のためには

学生自身が健康維持のために意識して取り組んでいる内容は、食事(42.7%)と睡眠(40.0%)で約8割を占めていました。これは前回とほぼ同じ結果でした。大学院生では睡眠(39.6%)、食事(37.7%)がほぼ同数でした。

睡眠に関しては、就寝は学部生と大学院生ともに0時を境にそれ以前と以降で二分する傾向を示しました。起床は、学部生は7時から8時の起床が約半数を占めましたが、大学院生は、6時から7時と7時から8時でそれぞれ1/3を占めていました。

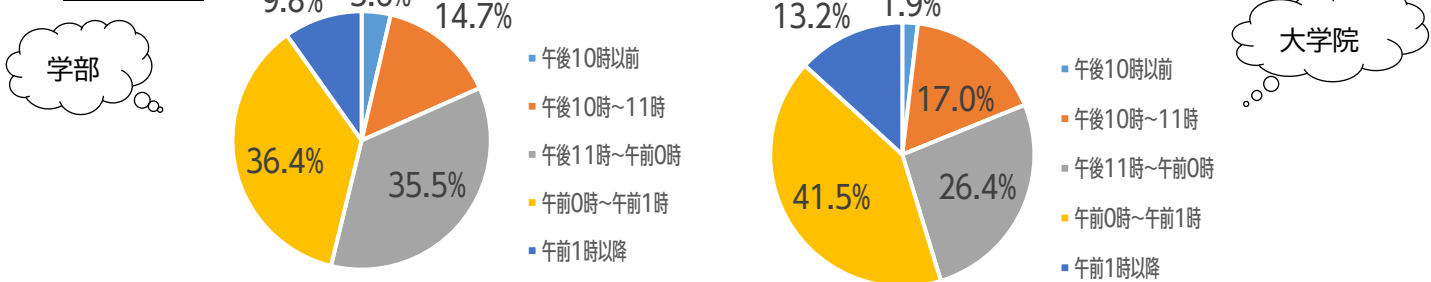
睡眠時間については、学部生と大学院生ともに6時間程度と答えた人が最も多く、両者ともほぼ9割が6から8時間の睡眠をとっており、睡眠時間の確保については、良好な結果を示したと言えます。

Q. 日頃健康上心がけていることはなんですか

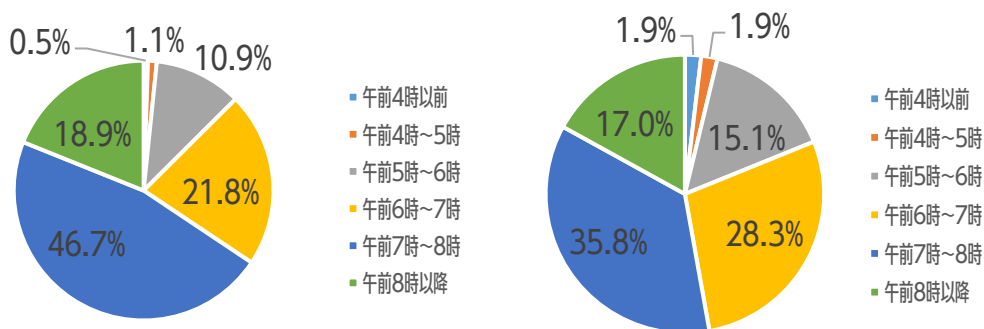


Q. 就寝・起床は何時ごろですか。また、平均睡眠時間はどれくらいですか。

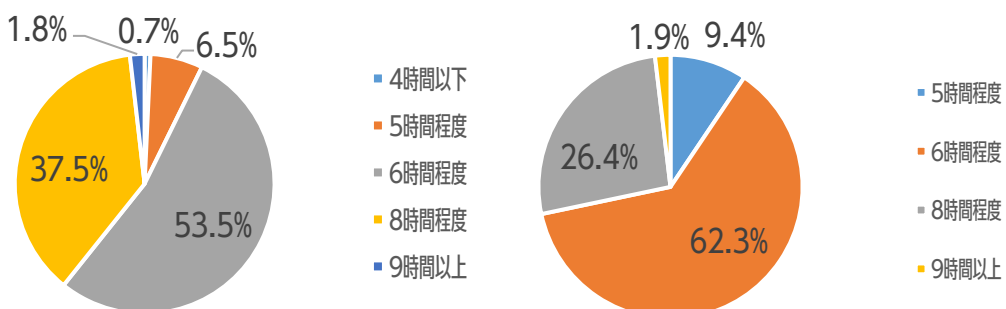
●就寝時間



●起床時間



●平均睡眠時間



(5) 飲酒や喫煙

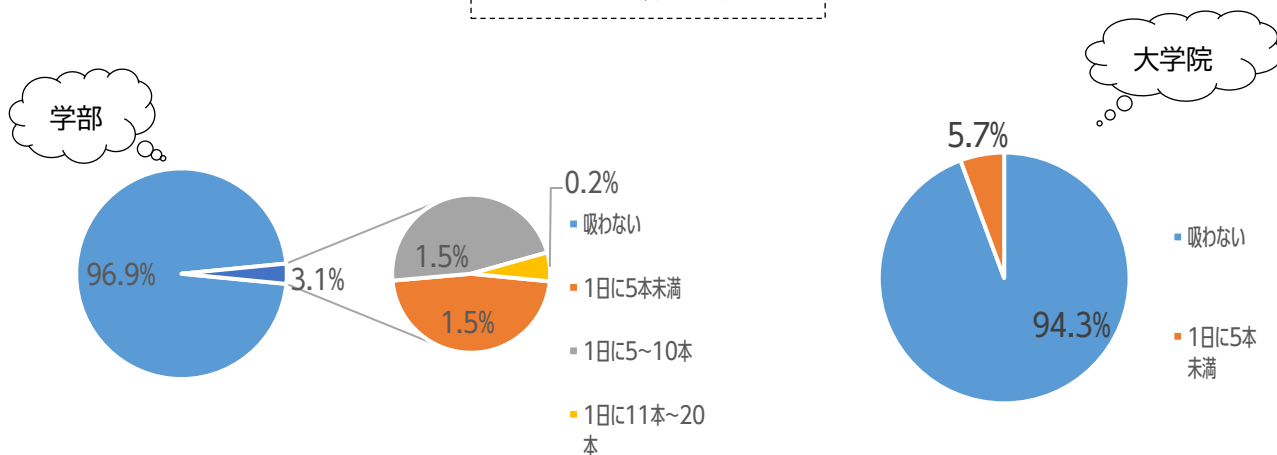
飲酒については、学部生では、お酒を飲む頻度が「ほとんど飲まない」と「全く飲まない」人を合わせて9割を占めました。「ほぼ毎日飲む」人は0.7%のみで、前回の0%とほぼ同様でした。一方、大学院生では「ほぼ毎日飲む」あるいは「週に数回飲む」の回答が20%程度あり、前回は30%程度でしたので、やや減少傾向を示しました。飲酒率の低さは、コロナ禍後、飲み会などの飲酒の機会が減ったことと、アスリートとしての意識の向上や物価高も影響しているのかもしれませんが。

Q. お酒をどのくらい飲みますか



タバコは「吸わない」人が学部生で96.9%、大学院生では94.3%で、喫煙率はかなり低い結果でした。本学としては、健康増進、競技力向上を考えると非常に喜ばしい結果ですが、こちらも物価高が影響しているのかもしれませんが。残念なことです。学生寮の近辺でも、まだ吸い殻のポイ捨てが見つかるケースもあり、喫煙者のマナーについてもしっかり指導していく必要があるようです。

Q. タバコは吸いますか



IV. 課外活動の状況

1. 大学における課外活動の必要性

課外活動の必要性に関しては、体育大学の特性上、多くの学部生が必要であると考えているようです。

学生自身の競技と学問が結びついている側面もあり、前回の調査時と同様に9割を超える学生が必要と回答しています。

ただし、ごく少数(5.1%)の学生は、前回同様あまり必要でないと考えているようです。

大学院生に関しても、学部生と同様の結果となりました。

2. 活動状況

(1) 加入状況

調査時においては、回答した学部の学生のうち、88.5%の学生が課外活動団体に所属しています。この割合は、前回調査時(92.3%)よりも低くなっています。体育大学の特性上、多くの学生が課外活動団体に所属している傾向がうかがえる結果となりました。一方で、6.5%の学生が課外活動団体から脱退している状況も見受けられました。

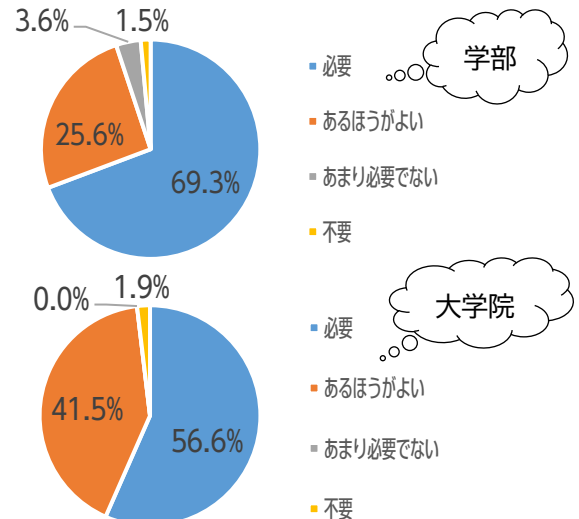
大学院生に関しては、加入していない学生が6割を超え、研究を主に取り組む学生が多くなっていることが考えられます。

(2) 主な動機

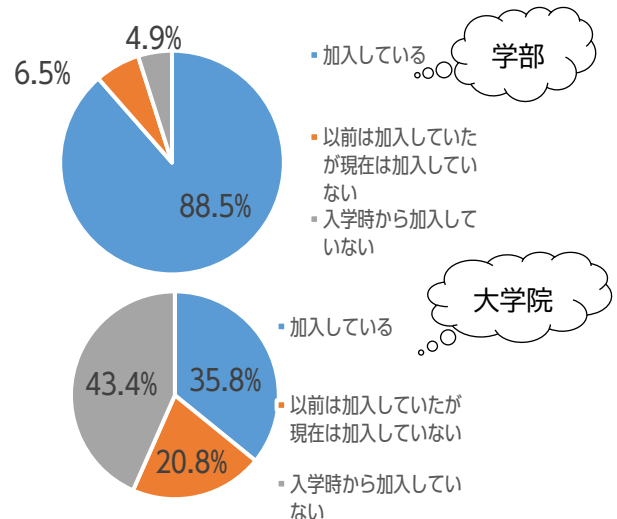
学部生が課外活動団体に加入している動機としては、前回と同様に上位1・2位は「競技力向上を図るため」、「自分の専門性を生かすため」と回答していました。以前と変わらず、学生自身の専門競技への探求がうかがえる結果となりました。

大学院生においては、学部生と異なり「自分の専門性を生かすため」が1位となりました。これは、学部生よりも大学院生では競技力向上を目指す活動を行う者が減るためだと考えられます。

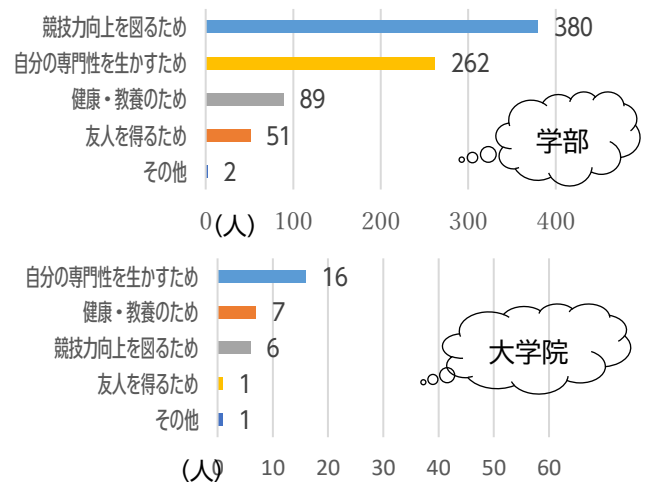
Q. 大学における課外活動をどう思いますか



Q. 課外活動に加入していますか



Q. 課外活動に加入した動機は何ですか(複数回答可)



(3) 平均活動時間

学部生の課外活動実施日における1日の平均活動時間は、1時間以上から4時間以内が大半を占めています（約90%）。しかしながら、4時間以上の学生も一定数見受けられました。種目特性（朝練）等で活動時間が多くなっていると考えられます。

ただし、オーバークースや正課との兼ね合いもあるため、効率よく活動していくことが大切です。

大学院生においては、2時間から3時間以内の割合が多く、前回の調査よりも平均活動時間が増えています。

(4) 学業との両立

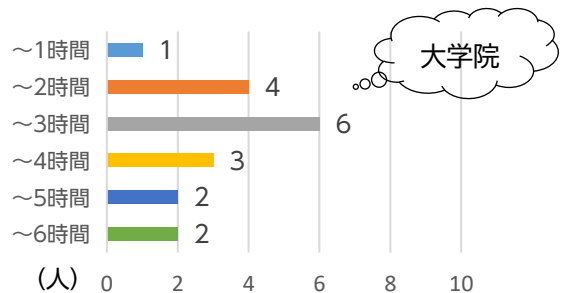
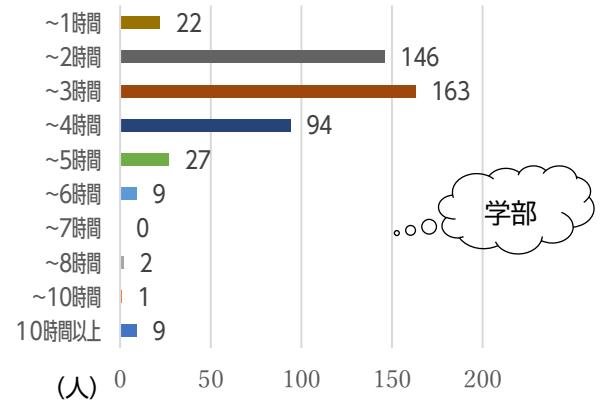
課外活動と学業の両立に関して、学部生の81.3%が両立できていると回答していました。前回（72.1%）よりも増えています。また、学業が少し犠牲になっていると回答した学生は15.8%で前回（24.3%）よりも少なくなっていました。

大学においては正課（学業）あつての課外活動という考え方は変わりませんので、前回の調査から改善傾向にはありますが、引き続き学業が少し犠牲になっている状況を改善できるよう工夫していくことが重要です。

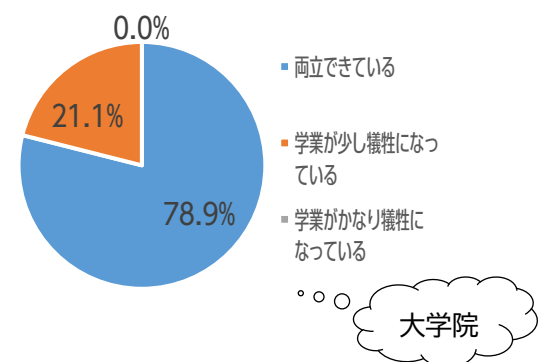
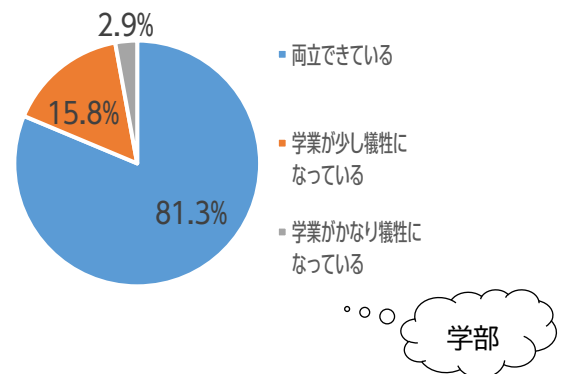
大学院生においては、学部生の傾向とは異なり、両立できていると回答した学生（78.9%）が前回よりも低下（86.7%）し、学業が少し犠牲になっていると回答した学生（21.1%）が前回（6.7%）よりも増加しました。

研究活動と課外活動とのバランスを意識的に考える必要があるでしょう。

Q. 1日あたり平均何時間くらい活動していますか



Q. 課外活動と学業は両立できていますか

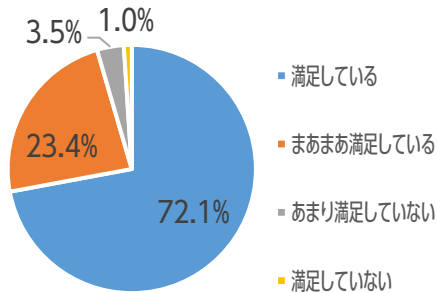


(5) 課外活動の満足度

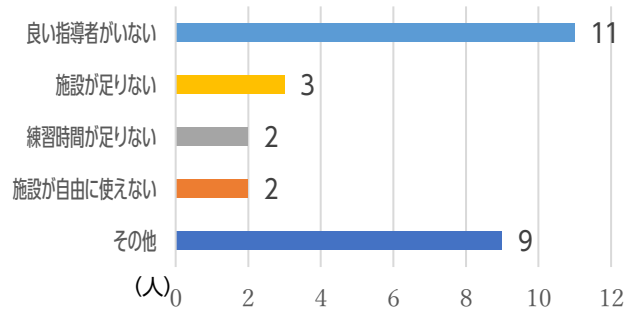
回答した学部生のうち、95.5%が満足感を得ている状況でした。多くの学生が満足感を得ている一方で、4.5%の学生が満足していないようです。全員が満足できる活動を行うことは極めて難しいと思いますが、少しでも学生自ら満足できる活動に転換できるよう工夫していく必要があるかもしれません。

満足していない主な理由のひとつに、「良い指導者がいない」があります。これは前回の調査でも同様の傾向がありました。

Q. 課外活動に満足していますか

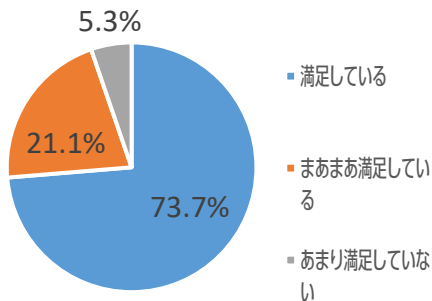


Q. 「あまり満足していない」「満足していない」と答え

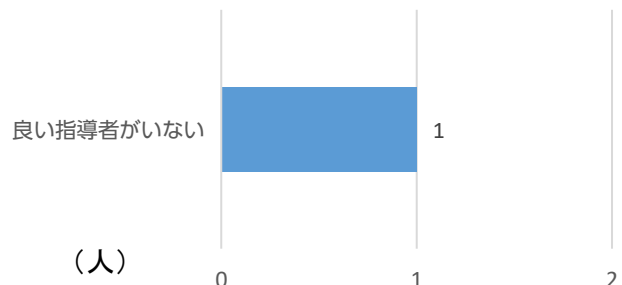


大学院生では、前回の回答で全員が「満足している」・「まあまあ満足している」と回答していましたが、今回は5.3%の学生が「あまり満足していない」と回答していました。理由としては、学部生と同様に、「良い指導者がいない」というものでした。

Q. 課外活動に満足していますか



Q. 「あまり満足していない」「満足していない」と答え



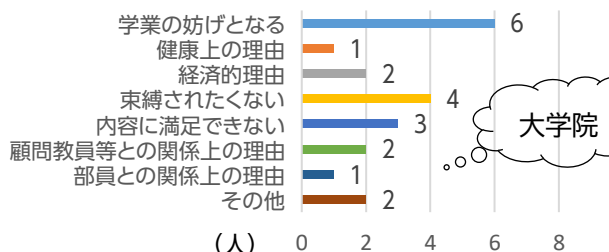
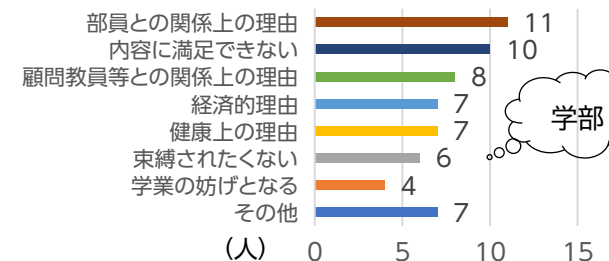
3. 課外活動団体への未加入の理由

(1) 途中で退部した理由

学部生のうち、現在は加入していない理由として、「部員との関係上の理由」が最も多い理由でした。「経済的理由」が前回の調査よりも上位になっていることから、「継続したくてもできない」状況があるのかもしれません。

大学院生については、「学業の妨げとなる」が最も多い理由でした。上述の通り、大学院生は学部よりも研究活動が主になることから、学業を優先させる傾向が見られました。

Q. 以前は加入していたが現在は加入していない理由は何ですか



(2) 入学時から未加入の理由

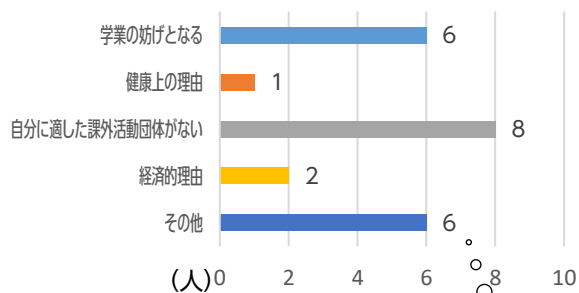
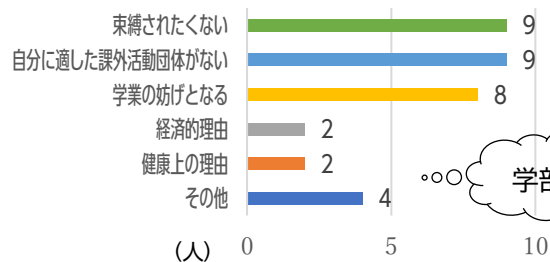
学部生の課外活動団体への未加入の理由としては、「束縛されたくない」・「自分に適した課外活動団体がない」が同数で1位となりました。

「する」スポーツだけでなく、「みる」・「ささえる」スポーツという価値観を持った学生の入学があるかもしれません。

大学院生の課外活動への未加入の理由としては、「自分に適した課外活動団体がない」・「学業の妨げになる」からという理由が上位となりました。

ここでも学業を優先させる傾向が見られます。

Q. 入学時から課外活動に参加していない理由は何ですか。



大学院

V 大学生生活の状況

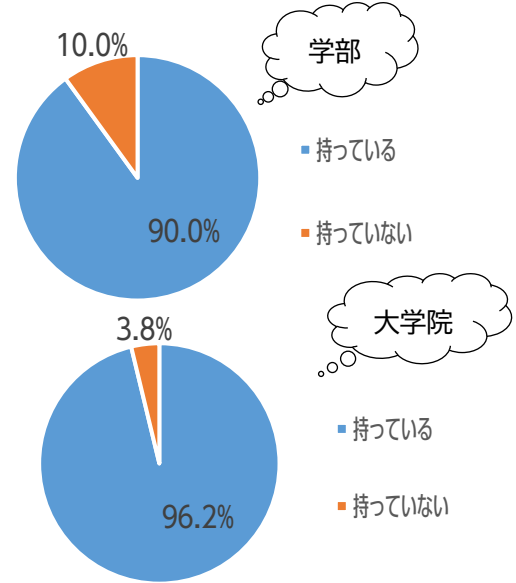
1. 大学生生活の充実度

(1) 鹿屋体育大学生であることに誇りを持っていますか

学部生のうち、「誇りを持っている」と回答した学生が90.0%を占めたことから、ほとんどの学生が本学に誇りを持っているといえます。この数値は、前回の90.7%と比較しても、ほぼ同等です。

大学院生については、「誇りを持っている」と回答した大学院生が96.2%を占めていました。大学院生を対象にした調査は今回が2回目ですが前回は「誇りを持っている」と回答した大学院生が86%であり、今回は約10%増加している結果となりました。誇りを持った大学院生が増加し、研究にも誇りを持って取り組むことにより、鹿屋体育大学のさらなる発展にもつながると考えられます。

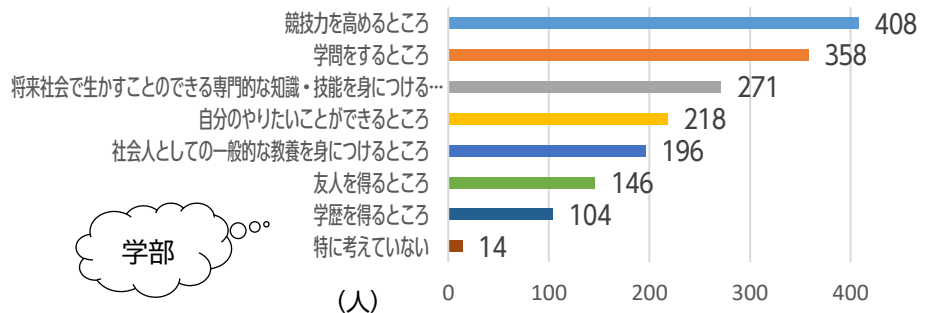
Q. あなたは鹿屋体育大学生であることに誇りを持っていますか



(2) あなたにとって、大学はどのようなところですか

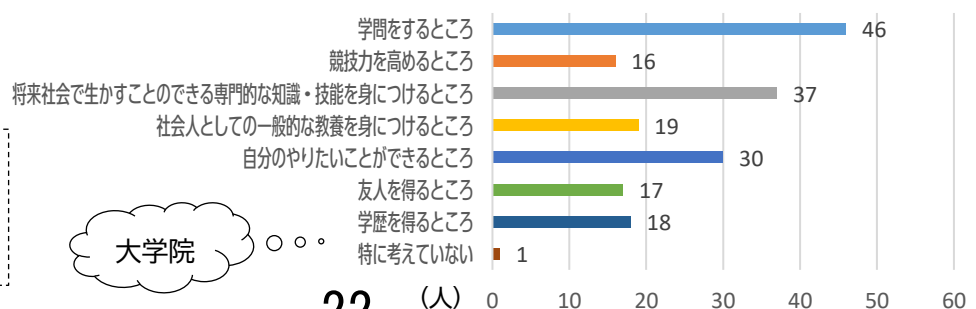
学部生について前回結果と比較すると、各項目の順位、および全体傾向はほぼ同様の結果でした。各項目の回答した割合について見てみると、「競技力を高めるところ」が74.2%、「学問をするところ」が65.1%、「将来社会で生かすことのできる専門的な知識・技能を身につけるところ」が49.3%、「自分のやりたいことができるところ」が39.6%、「社会人としての一般的な教養を身につけるところ」が35.6%、「友人を得るところ」が26.5%、「学歴を得るところ」が18.9%、「特に考えていない」が2.5%であった。これらの結果は、トップアスリートの多い体育大学であるという本学の特徴を表しているのかもしれませんが、課外活動を重視する学生の割合が多く、どちらかという学問より競技力向上を意識している学生が多いようです。また、「社会人としての一般的な教養を身につけるところ」と回答した学生が35.6%とやや低い傾向であり、社会に出るための準備に対する意識が少し低下しているようである。現在の学生生活の充実だけでなく、将来を見越したバランスの取れた学生生活を送るような教育的配慮が今後は必要になるかもしれません。

Q. あなたにとって、大学はどのようなところですか（複数回答可）



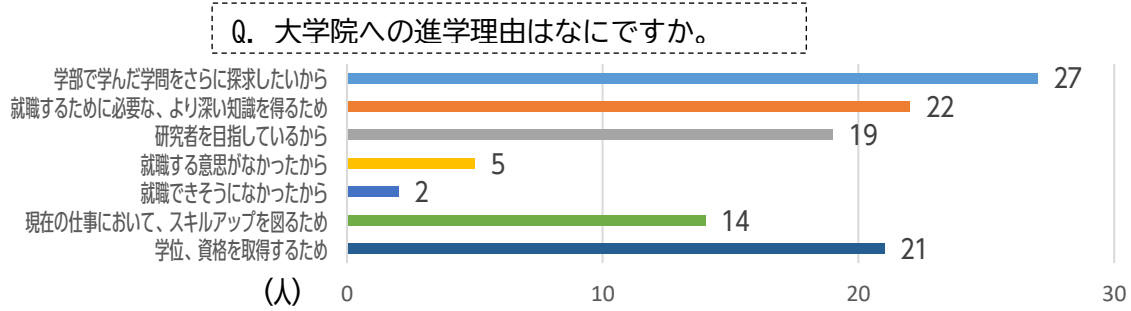
大学院生は、「学問をするところ」、「専門的な知識や技能を身につけるところ」、「やりたいことができるところ」が上位を占めています。また、「学歴を得るところ」という、やや現実的な回答も目立ちました。大学院生は、「やりたい研究を行い、結果を出し、それが学歴へもつながり、さらにはその知識や技術が今後の就職などにもつながる」という大学院の本来の目的に沿った結果かと考えられる。

Q. あなたにとって、大学はどのようなところですか（複数回答可）



大学院への進学理由

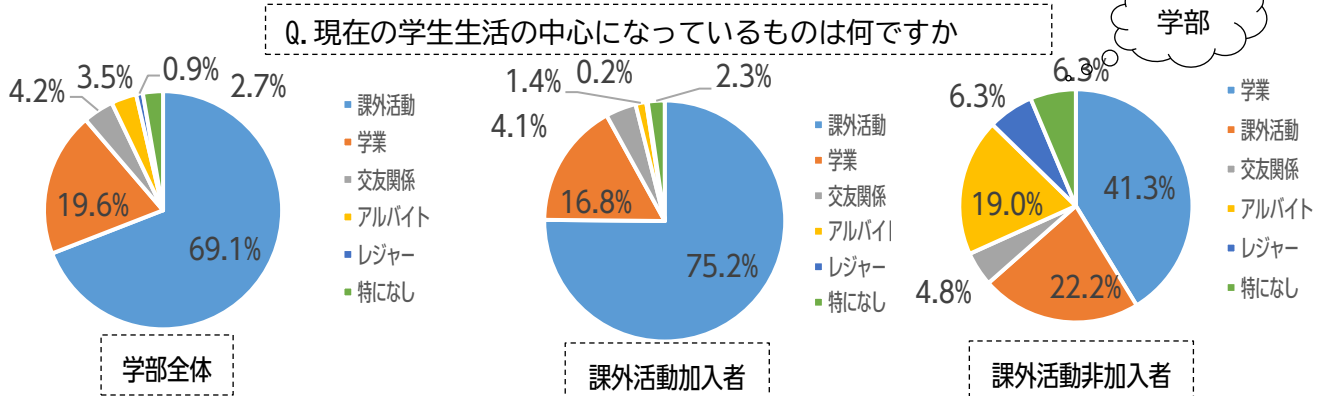
今回の調査では、新たに大学院への進学理由について調査を行いました。大学院生からの回答では、「学部で学んだ学問をさらに探求したいから」(27人)「就職するために必要な、より深い知識を得るため」(22人)をはじめ、積極的な理由での大学院進学が目立つ結果となりました。



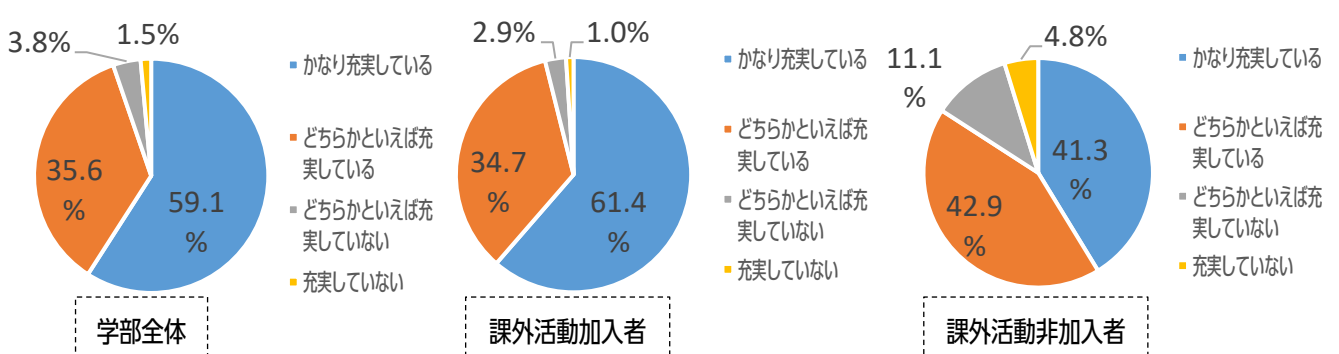
(3) 学生生活の中心になっていること、およびその充実度

学部生にとって学生生活の中心になっていることは、前回調査と同様、課外活動と学業で全体の約90%を占めています。両者の割合は前回と同様です。学生生活の充実度は「かなり充実している」と「どちらかといえば充実している」の割合が、前回同様の約95%であり、比較的良好な結果と言えるでしょう。

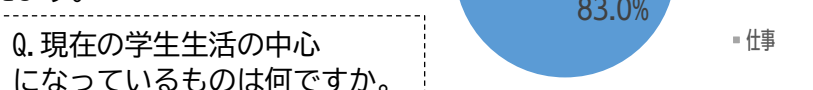
部活動加入者と非加入者で割合を見てみると、学生生活の中心に占める学業の割合は、部活動加入者が16.8%であるのに対し、非加入者は41.3%となっています。また、非加入者は、部活動がない分、アルバイトやレジャーに時間を費やしている傾向が見られました。



学生生活の充実度は、部活動加入者は「かなり充実している」と「どちらかといえば充実している」の割合が、96.1%であるのに対し、非加入者は84.2%であり、部活動非加入者はやや学生生活の充実度が低下している傾向でした。これは、課外活動中心である本学の特徴を示していると考えられます。部活動に加入していない人も、ある程度、アルバイトやレジャーなど学生生活を楽しんではいらるようですが、部活動ほどの充実感は得られていないのかもしれない。

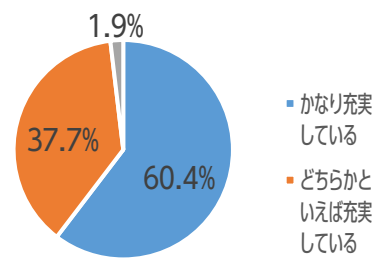


大学院生にとって学生生活の中心になっていることは、「学業」が83.0%を占めており、前回の78.0%より増加しています。その反面、課外活動が前回の14.0%から7.5%に低下しており、現在の大学院生は、課外活動より、学業に重点を置いている学生が多いことが伺えます。今後も大学院生の本分である学業中心の生活になるように、教育・研究指導を行っていく必要があるといえます。



大学院生の充実度は「かなり充実している」と「どちらかといえば充実している」の割合が 98.1%であり、前回の 94.0%から増加しています。充実した大学院生活を送れていることは非常に重要なことであり、今後も維持されることが望まれます。

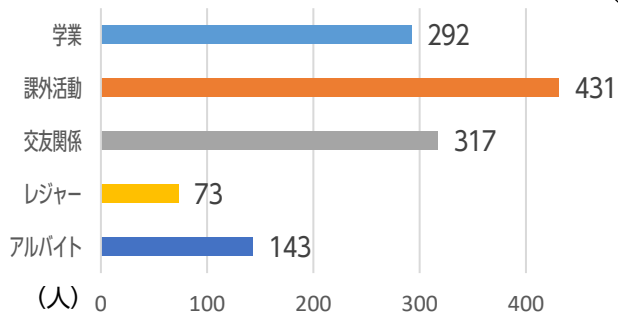
Q. 現在の学生生活は充実していますか。



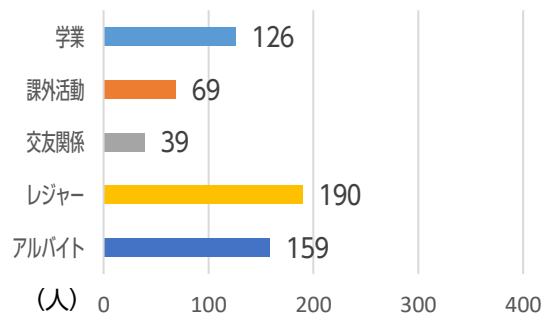
(4) 充実している点、および充実していない点

学部生で具体的に充実している点については、前回同様、課外活動が最も多く、続いて交友関係、学業、アルバイト、レジャーの順であり、学業は3番目となっていました。また、本学の特徴から、課外活動が最も多いのは理解できますが、学業が交友関係より低く、充実していない点としても「学業」が22.9%を占めるほどです。今後、授業や教育に対して、大学全体で改善を図り、学業が充実している学生の割合が増加していくことが必要であるといえます。

学部



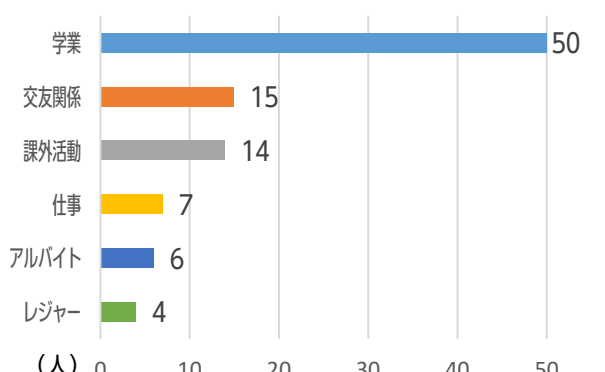
Q. 充実している点 (複数回答可)



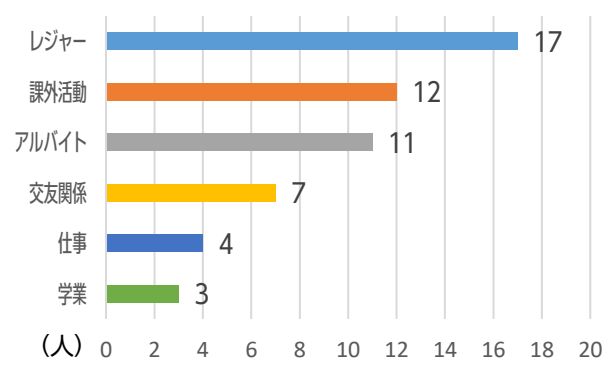
Q. 充実していない点 (複数回答可)

大学院生においては、充実している点は、「学業」が最も多い結果となりました。この結果は、総じて本学大学院における教育・研究指導が良好であることを示しており、今後も維持していく必要があると考えます。一方、充実していない点としては、前回は、「交友関係」、「レジャー」、および「アルバイト」が上位3項目に位置していましたが、今回は、「レジャー」「課外活動」、および「アルバイト」の順であり、前回より課外活動の充実度が低下しています。これは、前述のように、学生生活の中心の割合が、課外活動から学業にシフトしたことが要因と考えられます。また毎回、レジャーやアルバイトが上がってくるが、本学の立地環境から、あまりレジャーやアルバイトも豊富ではないと考えられるためではないかと考えられます。

大学院



Q. 充実している点 (複数回答可)



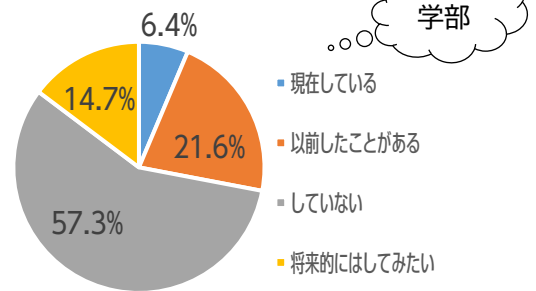
Q. 充実していない点 (複数回答可)

2. ボランティア活動

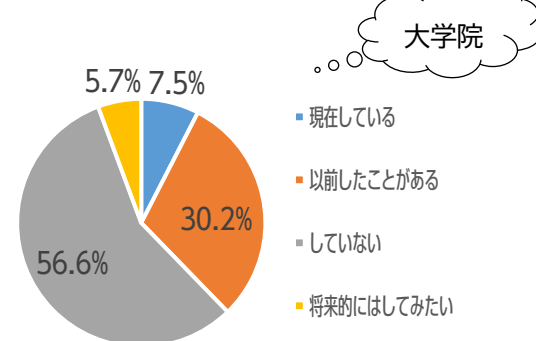
Q. ボランティア活動をしていますか

(1) ボランティア活動について

学部生のうち、ボランティア活動を現在している割合は、6.4%（前回 5.5%）、ボランティア活動を以前したことがある割合は、21.6%（前回 19.3%）であり、前回より、ややボランティア参加は増加しているようです。前回調査では前々回と比較して、この割合が低下していたので、やや盛り返した印象があります。今後も、地域貢献のために、積極的にボランティア活動に参加する学生が増えることが期待されます。



大学院生においては、ボランティア活動を現在している割合は、7.5%（前回 13.9%）、ボランティア活動を以前したことがある割合は、30.2%（前回 36.1%）であり、前回より、ややボランティア参加は減少しているようであり、ボランティア活動離れが進んでいる可能性があります。しかし、将来的にはボランティア活動をしてみたい割合は、5.7%（前回 2.8%）とやや増えているようですので、今後、積極的にボランティア活動に参加する学生が増えることが期待されます。

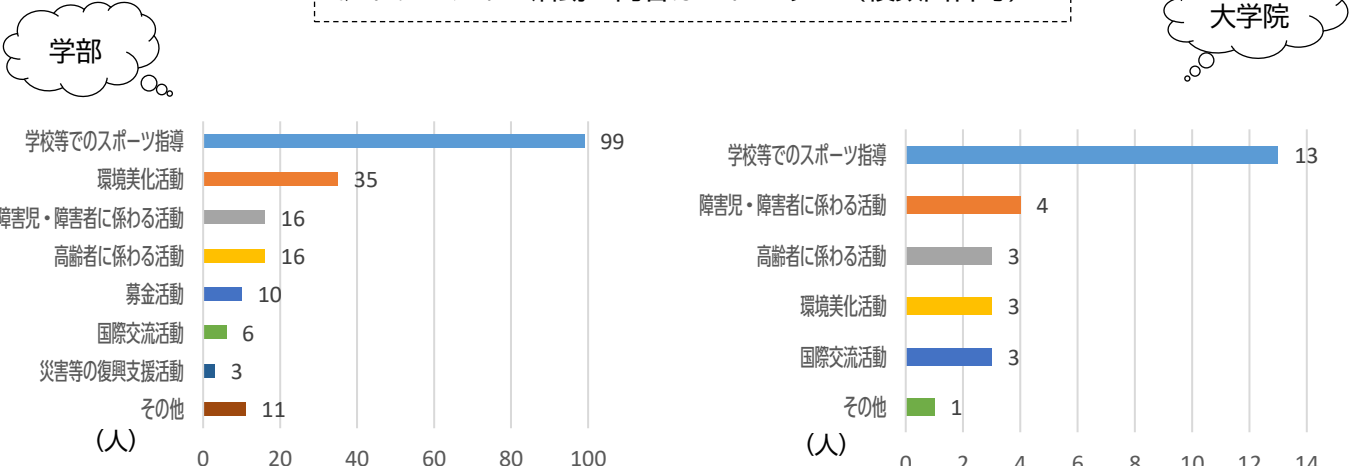


(2) ボランティア活動の内容

学部生のボランティア活動内容については、前回同様、「学校等でのスポーツ指導」が最も多く、次いで、「環境美化活動」が多い結果となりました。この結果は、体育大学生ならではの需要と社会が求めていると思われる需要が上位にきている結果と考えられます。一方、前回 26 名と 3 位に位置していた「災害復興支援」が今回は 3 名と低い傾向であり、また、「国際交流活動」が前回 2 名から今回は 6 名と少しではありますが増加していました。災害は、地震や津波をはじめとして、ここ数年増えている傾向ですので、可能な限り、災害復興支援へのボランティア参加が増えていくことが期待されます。また、国際交流活動への参加が増えていることは、学生の目が世界に向けられている証であり、今後も継続していきしてほしいものです。

大学院生のボランティア活動内容については、学部生同様、「学校等でのスポーツ指導」が、最も多い回答でした。特徴的なこととしては、「障害児・障害者に関わる活動」が 4 名、「高齢者に係る活動」が 3 名、「環境美化活動」が 3 名、「国際交流活動」が 3 名と多方面の分野のボランティアに参加していた点です。幅広いさまざまな分野に目を向けることは非常に重要なことであり、今後も継続していきることが期待されます。

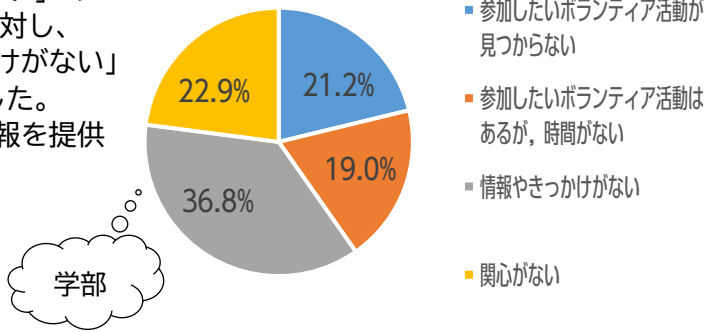
Q. ボランティア活動の内容はどれですか（複数回答可）



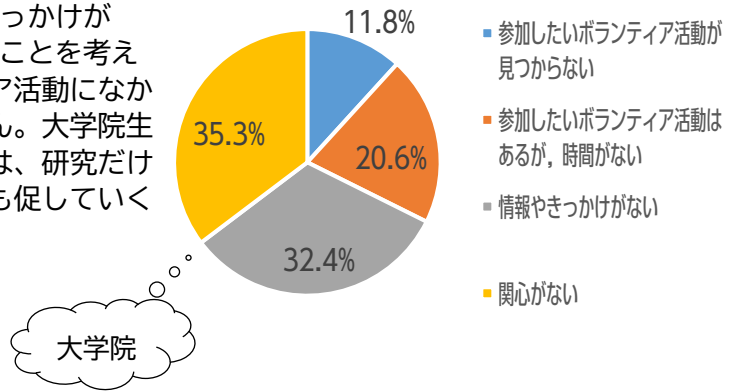
(3) ボランティアに参加しない理由

学部生のうちボランティアに「関心がない人」の割合は、22.9%であり、前回の23.0%と同様の結果となりました。また、「参加したいボランティアはあるが、時間がない」の割合が、19.0%（前回21.1%）とやや低下したのに対し、「参加したい内容が見つからない」、「情報やきっかけがない」が合計58.0%（前回55.8%）とやや増加していました。今後は、多くの学生に多くのボランティア活動の情報を提供するなどの工夫が必要であると考えられます。

Q. ボランティア活動に参加していない主な理由は何ですか（複数回答可）



大学院生がボランティアに参加しない理由としては、「関心がない」が35.3%を占めており、前回の30.0%より増加していた。「参加したい内容が見つからない」、「情報やきっかけがない」は合計44.2%（前回50.0%）と減少していることを考えると、大学院生は、研究活動が忙しく、ボランティア活動になかなか目が向かない現状を示しているのかもしれませんが、大学院生は、研究が一番であるのは当然のことですが、今後は、研究だけでなく、少しでもボランティア活動に参加することも促していく必要があると思われます。

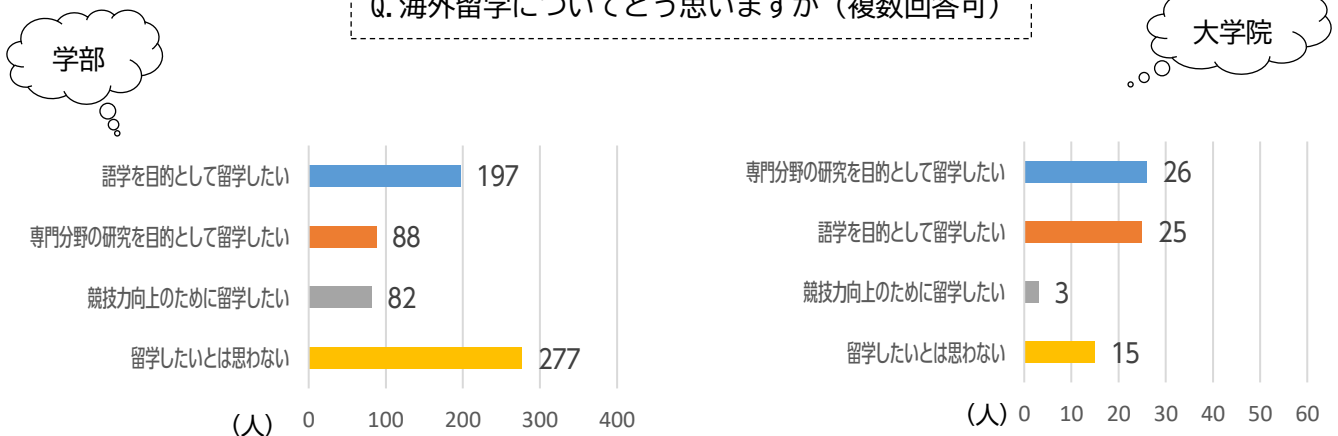


3. 海外留学

学部生については、「留学したいとは思わない」の割合は、50.4%であり、前回の50.7%とほぼ同様の結果でした。また、留学の目的としては、前回同様「語学留学目的」が最も多く、続いて「専門分野の研究目的」、「競技力向上目的」がほぼ同数であり、こちらも前回とほぼ同様の結果でした。今後、このような留学希望の学生へのサポート体制も充実させる必要があると考えます。

大学院生では、「専門分野の研究目的」、「語学学習の目的」が前回同様、上位を占めており、大学院生の向上心が伺えます。「専門分野の研究目的」のための留学には、質の高い「修士論文」や「博士論文」、そして「国際学術雑誌」への論文掲載が求められます。したがって大学院生の希望実現のためには、本人の努力だけでなく、本学教員による教育・研究指導能力が、今後大きな役割を担って来ると考えられます。

Q. 海外留学についてどう思いますか（複数回答可）



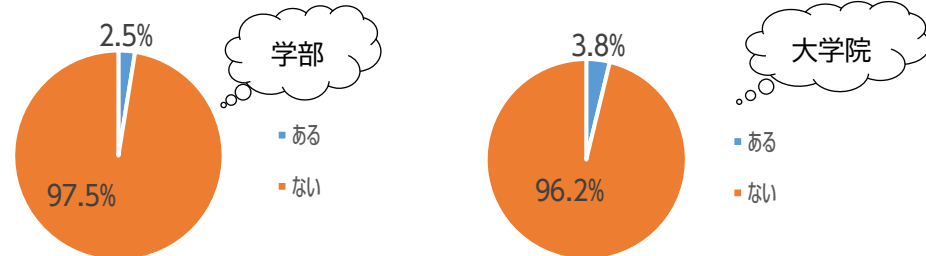
VI ハラスメント

1. ハラスメントの状況

学部生については、2.5%（14名）の学生が「ハラスメントを受けたことがある」と回答し、前回の3.0%（17名）と比べ、被害を受けた学生の割合は減少しました。

また、3.8%の大学院生が「ハラスメントを受けたことがある」と回答しています。

Q. 大学入学後ハラスメントを受けたことがありますか

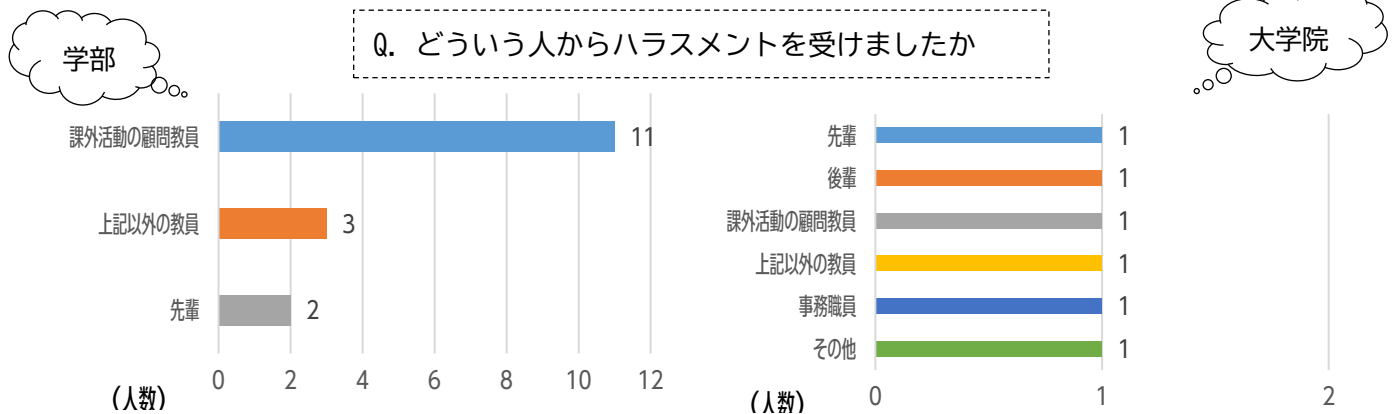


2. 顧問教員からが多い

学部生がハラスメントを受けた相手については、「課外活動の顧問教員」が11名、「それ以外の教員」が3名、「先輩」が2名となっていました。「課外活動の顧問教員」が前回は2番目だったのに対し、今回は1番多くなっています。また、前回一番多かった「先輩」が前回に比べると少なくなっています。

大学院生がハラスメントを受けた相手については、「課外活動の顧問教員」「それ以外の教員」「先輩」「後輩」「事務職員」が各1名となっていました。

Q. どのような人からハラスメントを受けましたか

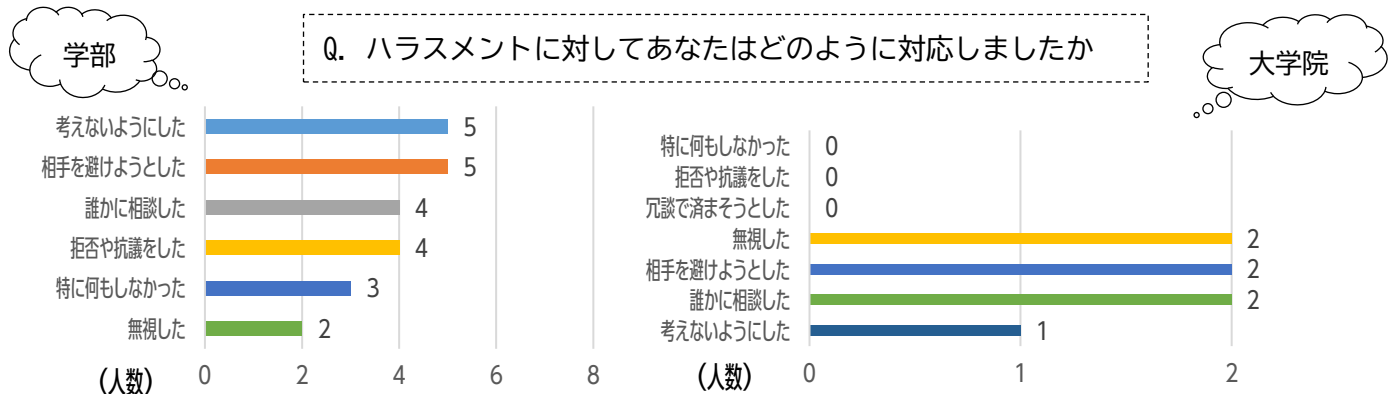


3. ハラスメントへの対応

学部生については、ハラスメントへの対応として、「考えないようにした」と「相手を避けようとした」が各5名、「誰かに相談した」と「拒否や抗議をした」が各4名、「特に何もしなかった」が3名、「無視した」が2名となり、前回に比べて「考えないようにした」が増えています。

大学院生については、ハラスメントへの対応として、「無視した」「相手を避けようとした」「誰かに相談した」が各2名、「考えないようにした」1名となっていました。

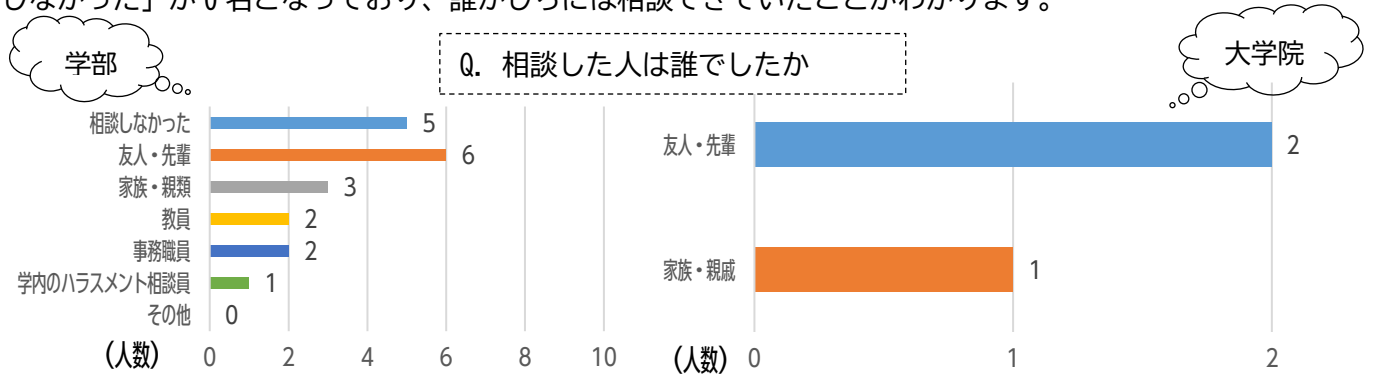
Q. ハラスメントに対してあなたはどのように対応しましたか



4. 相談相手は友人や先輩、家族

学部生の相談相手については、「相談しなかった」が5名、「友人・先輩」が6名、「家族・親戚」が3名、「教員」「事務職員」が各2名、「学内のハラスメント相談員」が1名となっていました。

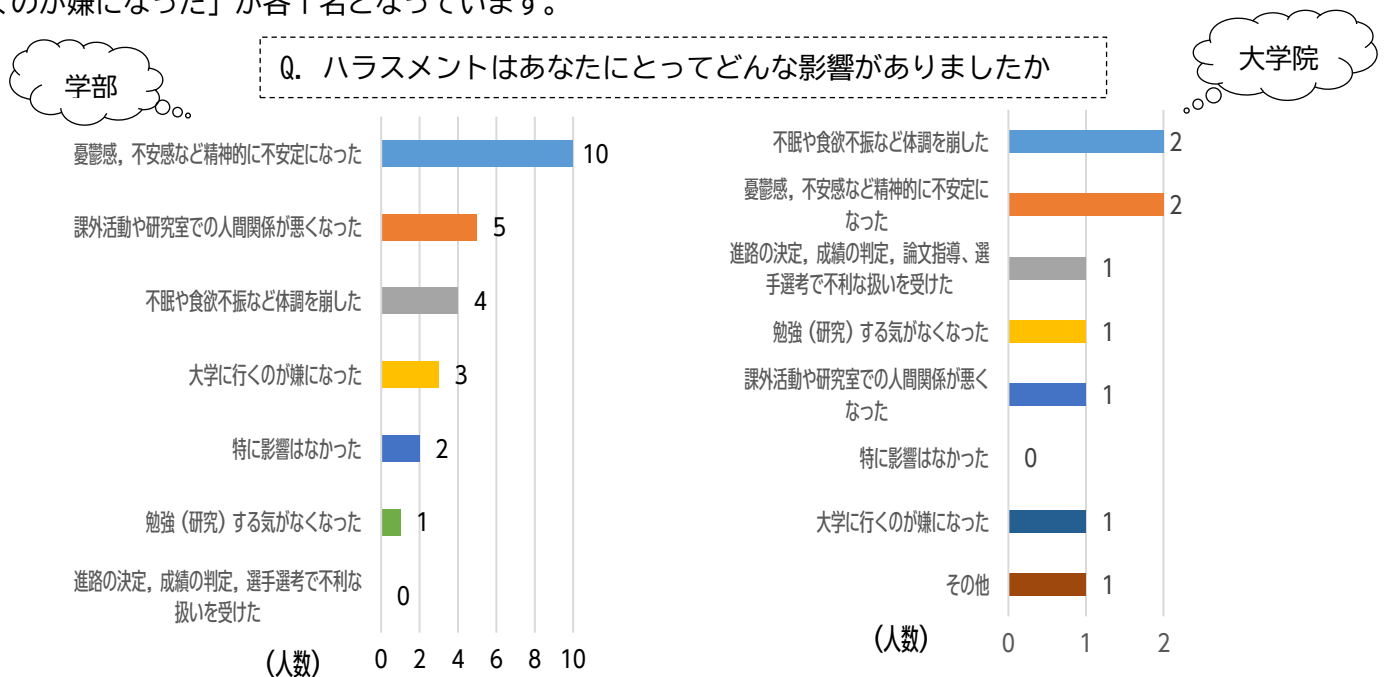
大学院生の相談相手については、「友人・先輩」が2名、「家族・親戚」が1名となっていました。「相談しなかった」が0名となっており、誰かしらには相談できていたことがわかります。



5. ハラスメントの影響

学部生におけるハラスメントの影響については、「憂鬱感、不安感など精神的に不安定になった」が10名、「課外活動や研究室での人間関係が悪くなった」が5名、「不眠や食欲不振など体調を崩した」が4名、「大学に行くのが嫌になった」が3名、「勉強（研究）する気がなくなった」が1名、「特に影響はなかった」が2名となっています。前回に比べると全体的に影響を受けたとする回答が減りましたが、ハラスメントを受けた学生のほとんどが、何らかの悪影響を被っていることがわかりました。これらの悪影響が無くなるような対応が求められています。

大学院生におけるハラスメントの影響については、「憂鬱感、不安感など精神的に不安定になった」「不眠や食欲不振など体調を崩した」が各2名、「進路の決定、成績の判定、論文指導、選手選考で不利な扱いを受けた」「勉強（研究）する気がなくなった」「課外活動や研究室での人間関係が悪くなった」「大学に行くのが嫌になった」が各1名となっています。

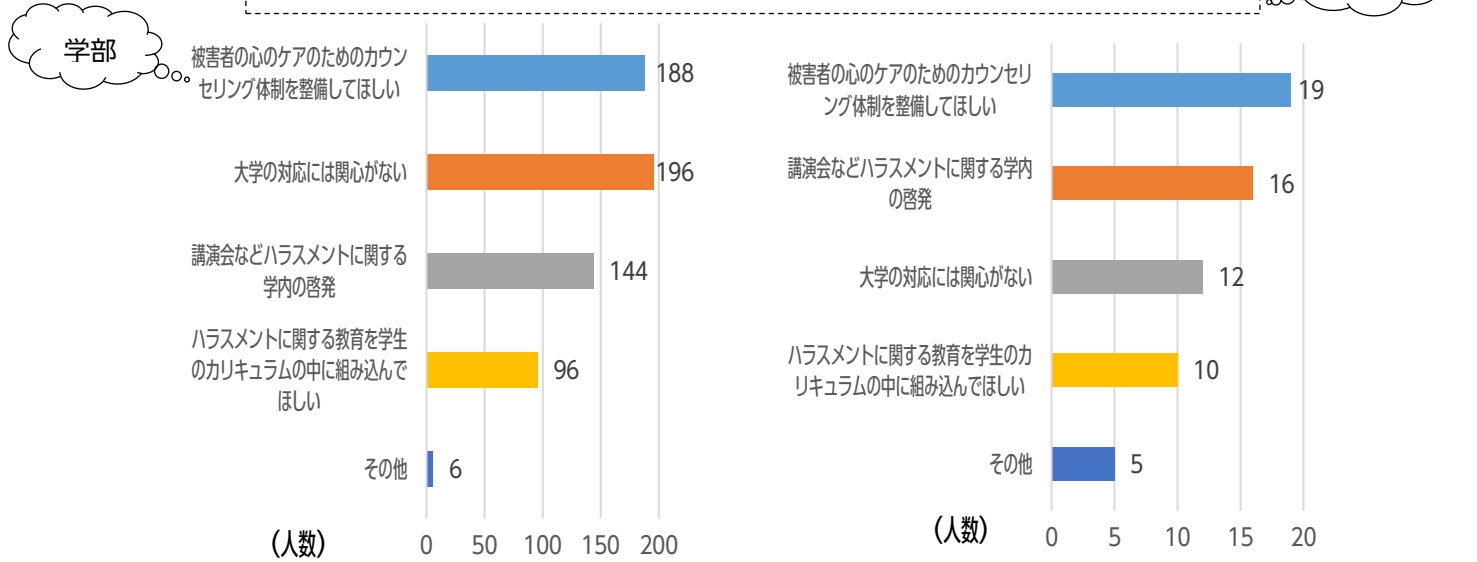


6. 大学にとってほしい対応と相談窓口

学部生が大学にとってほしい対応については、「被害者の心のケアのためのカウンセリング体制を整備してほしい」が188名、「講演会などハラスメントに関する学内の啓発」が144名、「ハラスメントに関する教育を学生のカリキュラムの中に組み込んでほしい」が96名となっているのに対し「大学の対応には関心がない」が196名という回答が一番多くなっていることは注視する必要があります。

大学院生が大学にとってほしい対応については、「被害者の心のケアのためのカウンセリング体制を整備してほしい」が19名、「講演会などハラスメントに関する学内の啓発」が16名、「ハラスメントに関する教育を学生のカリキュラムの中に組み込んでほしい」が10名、「大学の対応には関心がない」が12名となっています。

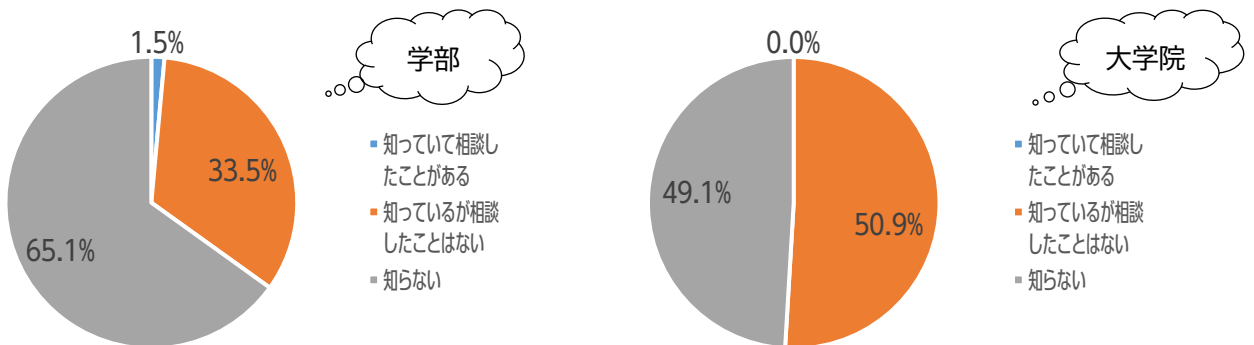
Q. ハラスメント問題について、大学にどのような対応をとってほしいですか



ハラスメント相談窓口については、学部生では「知らない」が最も多く65.1%、「知っているが相談したことはない」が33.5%、「知っているが相談したことがある」が1.5%でした。前回と比較すると、「知らない」が72.4%から65.1%に減少しています。

大学院生については、「知っているが相談したことはない」が最も多く50.9%、次いで「知らない」が49.1%、「知っているが相談したことがある」は0.0%でした。

Q. 本学にハラスメント相談窓口があり、ハラスメント相談員が置かれているのを知っていますか



ハラスメントは微小の傾向ではありますが、ハラスメントを経験した学生が在学している状況が伺えるため、大学の対応や相談窓口については、もっと積極的な周知が必要と考えられます。

Ⅶ 学内施設利用状況

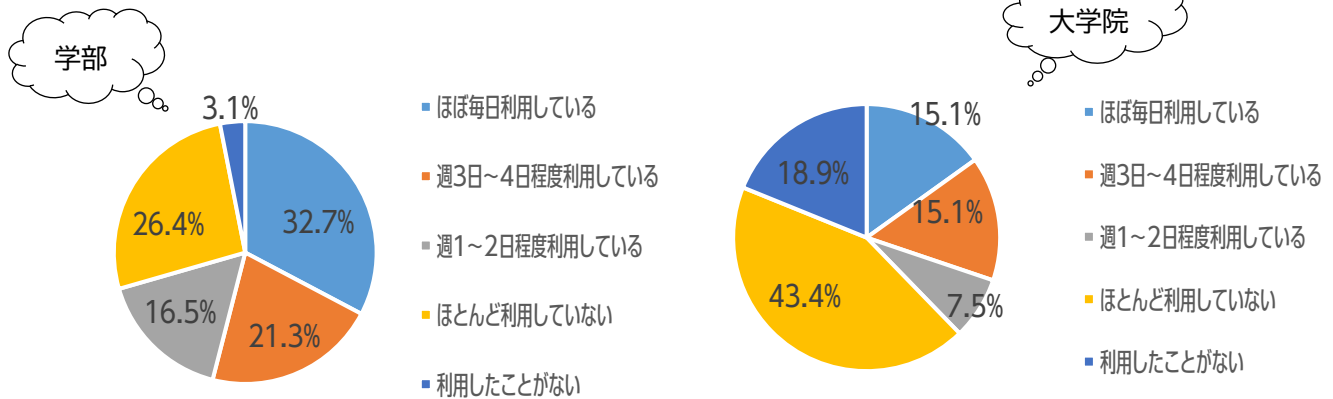
1. 食堂

(1) 学生食堂の利用状況は？

学部生については、「学生食堂をどれくらい利用していますか？」という質問に対し、32.7%が「ほぼ毎日」と回答しており、前回調査（29.9%）からわずかに増加しています。「週3日程度」を合わせると60%で、前回調査の43.9%（「ほぼ毎日」と「週に3日程度」）と比較すると大きく上回っていました。

大学院生については、学部生よりも利用頻度が少ないものの、「ほぼ毎日」と「週に3日程度」と回答した学生が前回調査の22.3%から30.2%に増加しており、利用は進んでいるようです。

Q. 学生食堂をどのくらい利用していますか

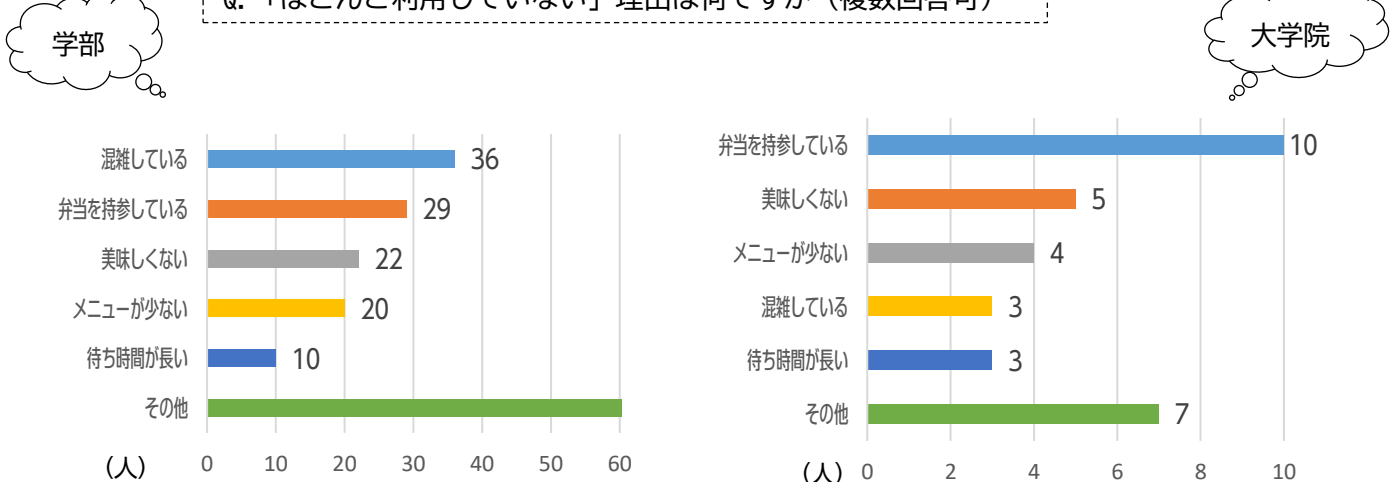


(2) 学生食堂を利用しない理由は？

今回調査において「ほとんど利用していない」と回答した26.4%の方々に理由を聞くと、「混雑している」との回答が36人で前回調査（32人）からは微増、また「弁当を持参している」は29人で前回調査の51名からは大きく減少しました。「メニューが少ない」「美味しくない」は、前回調査と比較して、それぞれ29人→20人、27人→22人と減少していました。また、今回最も多かった「その他」の回答では、「家が近いから、家で食べている」「自炊している」「家で食べたい」という回答が多数を占めました。

大学院生についても「弁当を持参している」が10人と最も多い結果でした。また、大学院生は、「鹿屋が生活拠点ではないから」「学外在住のため使用しない」「通学する機会が少ないため」という理由も見られました。

Q. 「ほとんど利用していない」理由は何ですか（複数回答可）



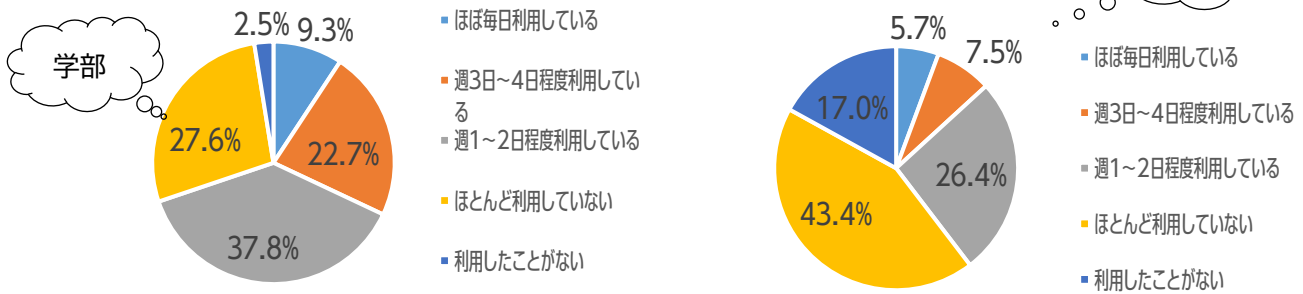
2. 売店

(1) 売店をどれくらい利用していますか？

売店の利用については、「ほぼ毎日利用している」「週3～4日程度利用している」という回答が、前回調査時の16.2%から32%と倍増しましたが、コロナ禍以前の57%には及びませんでした。

大学院生においては、学部生より利用頻度が低く、「ほとんど利用していない」「利用したことがない」という回答が約6割を占めました。こちらも鹿屋に住んでいないことが理由にあるかもしれません。

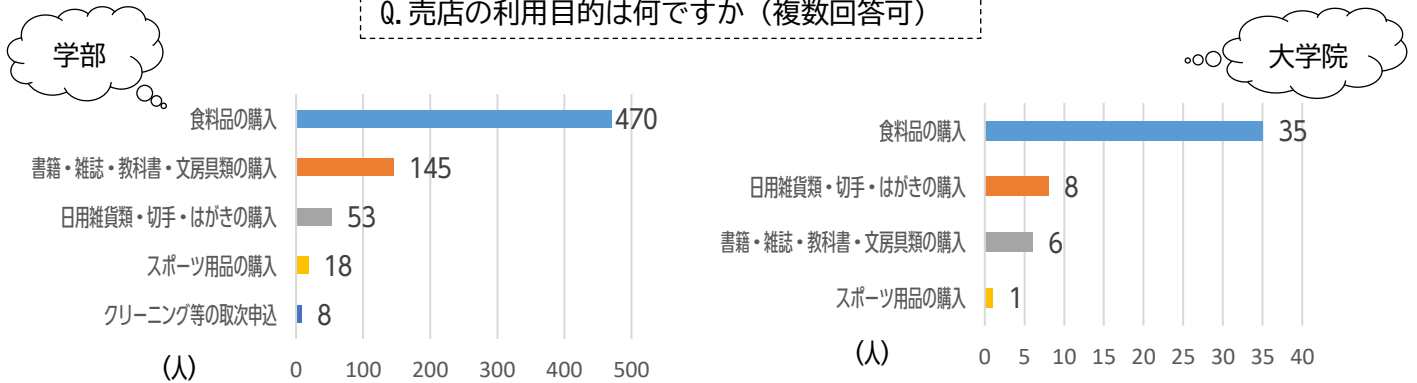
Q. 売店をどれくらい利用していますか



(2) 売店の利用目的は？

利用目的は、学部生・大学院生ともに「食料品の購入」が最も多い結果でした。学生の皆さんは、補食や間食を目的に売店を利用している様子がうかがえます。学部生は、2番目に多い利用目的は前回調査と同様に、「書籍・雑誌・教科書・文房具類の購入」でした。

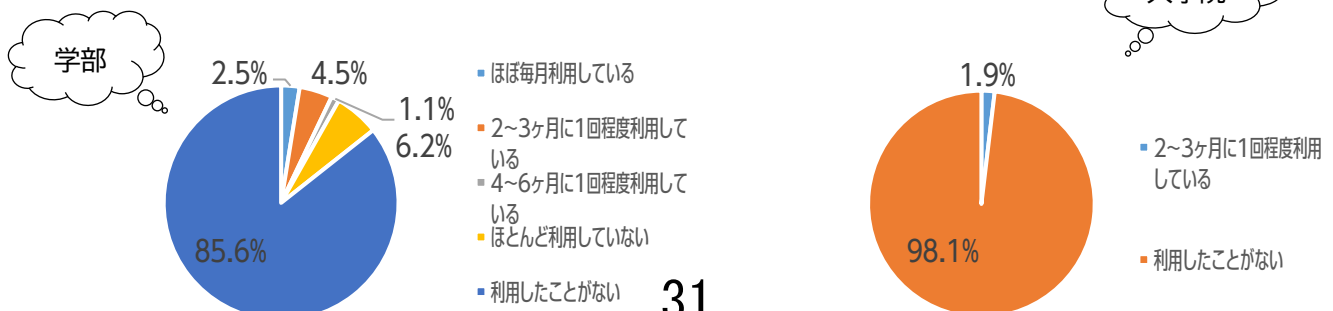
Q. 売店の利用目的は何ですか（複数回答可）



3. 理・美容室

理・美容室を「利用したことがない」と回答した学生は、学部生で85.6%、大学院生では98.1%でした。これは前回調査の92.4%からは微減しましたが、利用頻度は依然として低いようです。一方、「ほぼ毎月利用している」という学部生は、前回の0.5%から2.5%へ、「2～3ヶ月に1回程度利用する」学生は前回調査の3.0%から4.5%に増加しました。前回調査に続いて、現在、福利厚生施設としては最も利用頻度の低い施設の一つですが、理・美容室は、皆さん利用できる施設です。是非一度利用してみてください。

Q. 学内の理・美容室を利用していますか

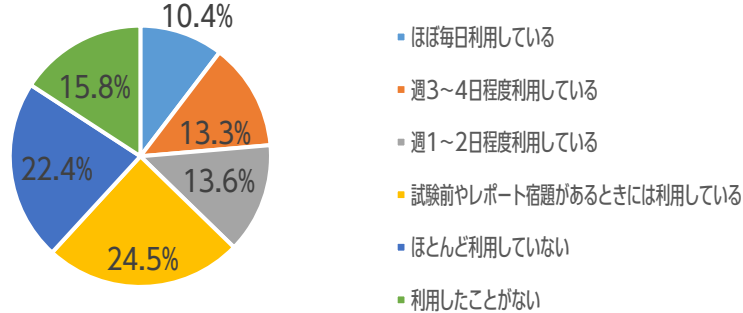


4. 学習スペース

学内の学習スペースとして開放している学生食堂、NIFS Gallery、学生ラウンジ、附属図書館閲覧室などについては、週に1日以上利用している学生は37.3%、試験前やレポート課題のある時に利用している学生が24.5%、「利用したことが無い」、「ほとんど利用したことがない」という学生も38.2%いましたが、集中して学習したいときなどに積極的に利用してみてください。

【学部生】

Q. 学内の学習スペースを利用していますか

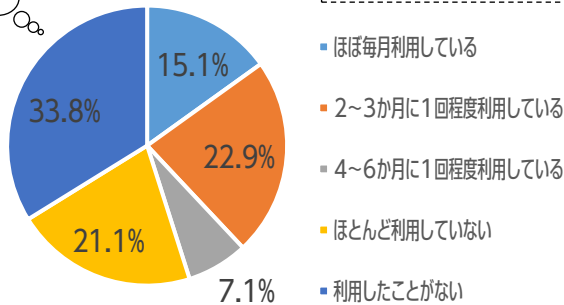


5. ATM

学内に設置している鹿児島銀行ATMの利用については、「ほぼ毎月利用している」「2~3か月に1回程度利用している」「4~6か月に1回程度利用している」が学部生で45.1%、大学院生で32.1%となっており、一定の利用者がいるようです。

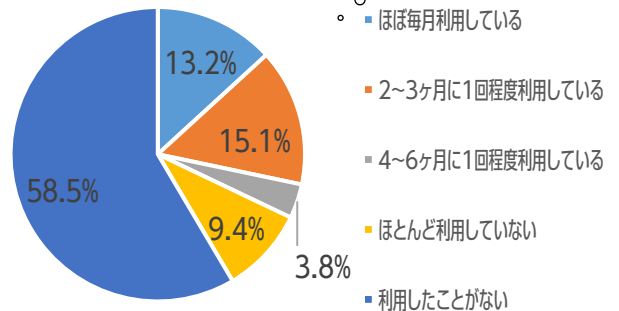
大学院生では、「利用したことがない」が58.5%となっていますが、生活の拠点が鹿屋市にない学生も多いことが影響しているかもしれません。

学部



Q. 学内のATMを利用していますか

大学院



Ⅷ 大学への意見・要望

学部生の皆様から、大学に対しての要望や期待することとして 127 件の回答がありました。内容としては、学生寮や食堂などの生活環境に関する要望（寮設備のリニューアル、学生食堂の価格やメニューの見直し、駐車場の拡充など）や、次いで学習スペースやトレーニング場などの施設に関する要望（学習スペースの拡充、冷暖房の整備、新しい機器の導入など）が多く見受けられました。その他、部活の支援、学生イベントの充実、授業の質の向上、教務システムのアクセシビリティの向上などの意見も上がっていました。

大学院生の皆様からは、大学に対しての要望や期待することとして 11 件の回答がありました。主に研究活動に関する要望（広報・プレスリリースの拡充、倫理審査の周知、図書館やソフトの利用拡大など）でした。その他、食堂やアルバイトに関するサポートを望むような声もありました。

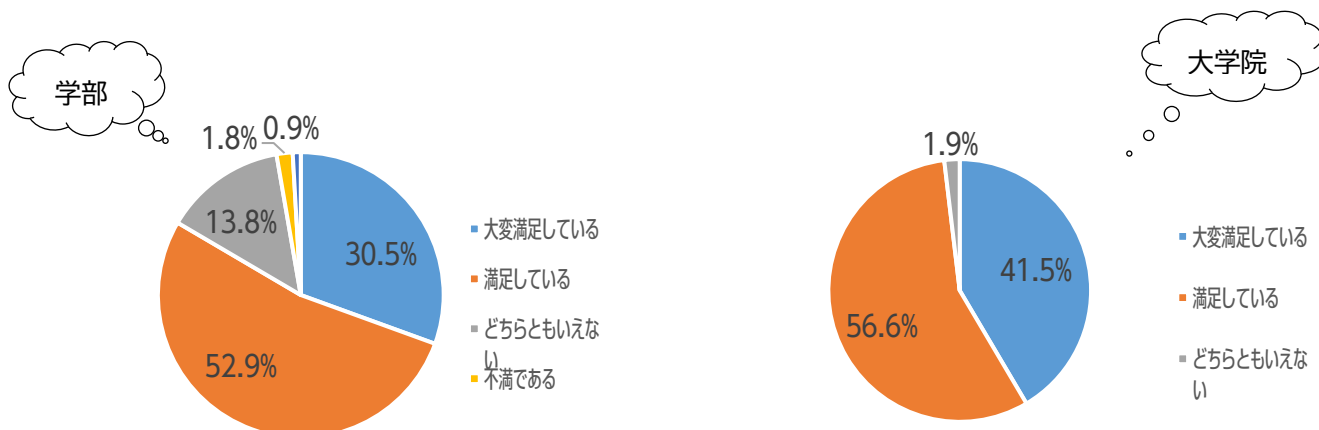
これらの意見は、学生委員会から関係各所に検討を依頼し、今後の学生生活支援に役立てるようにしたいと思います。全ての要望にすぐに応えるのは難しく時間を要すると思いますが、皆さんが充実した学生生活を送れるように、大学全体で取り組んでいければと思います。

Ⅸ 大学に対する満足度

最後に、学生の皆さんが本学に対して「満足しているのか？」について調査しました。学部生の皆さんの満足度は、「大変満足している」が 30.5%、「満足している」が 52.9%であり、あわせると 8 割以上の方々から「満足している」という回答が得られました。これは前回調査とほぼ同様（「大変満足」27.1%、「満足」54.0%）でした。しかしながら、「大変不満である」と回答した人が 1.8%おり、前回調査の 0.5%よりも増加していました。全体から見ると少ない割合ですが、気になる増加です。その理由については、今後も検討を重ね、改善できるところはしていきたいと思います。

次に大学院生ですが、「大変満足している」が 41.5%で、「満足している」が 56.6%であり、ほぼすべての方々に「満足している」という回答を得ることができました。前回調査では「満足している」との回答が 9 割弱（「大変満足」36.1%、「満足」52.8%）でしたので、今回の調査では増加を示しました。

学生委員会は、皆さんの学生生活が少しでも楽しく、有意義なものになるように企画・運営していく委員会ですので、より満足度の高い学生生活を送っていただけるように、これからも皆さんと関係諸氏との協力を深めながら活動していきたいです。



あとがき

今回実施した第13回学生生活実態調査は、学部生および大学院生を対象として実施し、多くの学生から回答を得ることができました。本調査は、前回（令和4年度実施）の調査が新型コロナウイルス感染症の影響下で実施されたのに対し、社会全体がアフターコロナへと移行しつつある時期に行われたものであり、学生生活の変化と継続的課題を把握するうえで重要な調査となりました。

前回の調査では、学内施設利用の低下や来学機会の減少、学修以外でのインターネット利用時間の増加など、学生生活の大きな変容が明らかとなりました。第13回調査においても、インターネットやスマートフォンの長時間利用傾向は引き続き確認され、デジタル機器を中心とした生活様式が学生生活の中に定着していることがうかがえます。

生活環境については、前回と同様に居住形態や食生活に大きな変化はみられませんが、自動車通学の傾向は前回に引き続き確認され、学生の移動様式やキャンパス利用の在り方が定着している可能性が示されました。

アルバイトについては、前回と比較して経験者が増加しており、学生の生活実態や社会経験に対する意識の変化がうかがえます。また、アルバイト経験者の増加は、学生の社会経験の広がりとともに、生活費や学費をめぐる現実的な課題を反映している可能性も考えられます。一方で、学業や課外活動との両立に配慮した支援の重要性も引き続き示されました。

学生の悩みや不安に関しては、前回に引き続き「進路・就職」に関する内容が多く、将来への不安が継続的な課題となっていることが明らかとなりました。また、健康状態については、前回および第13回ともに多くの学生が良好と回答している一方で、生活リズムや精神面への配慮が必要な学生も一定数存在しています。

本学の特性である課外活動については、前回に引き続き多くの学生が学生生活の中心として位置づけており、学生生活全体の充実度についても、前回と比較して向上している様子がうかがえました。本調査結果は、学生支援や教育環境改善を進めるうえで重要な基礎資料となるものです。

最後になりましたが、本調査にご協力いただいた学生諸氏ならびに、調査の実施・報告書作成にご尽力いただいた学生委員会委員および関係教職員の皆様に、心より感謝申し上げます。

令和8年3月

令和7年度学生委員会
副委員長 竹中健太郎

学生生活アンケート調査（学部生）

令和7年10月
鹿屋体育大学学生委員会

このアンケートは、あなたの学生生活の実態を知り、今後における学生諸君の課外活動及び健康管理などの福利厚生について、学生生活の充実を図るための参考とするものです。また、このアンケートは無記名で行うものであり、ありのままを記入してください。

なお、アンケート結果については、本学の学生支援・修学支援に係る施策に利用いたしますので、あらかじめご承知おきください。その他の目的に利用することはありません。

回答記入上の注意

1. 回答は無記名とし、令和7年10月1日現在で記入してください。
2. 回答は原則として1つですが、【複数選択可】と記載されている場合、あてはまるものをすべて選択してください。
3. 質問事項で該当する回答項目がない場合は、できるだけ近いものを選んで回答してください。
4. 「その他」を選んだときは、具体的な内容を記入してください。また、設問によっては、必要事項を記入するものがありますので、注意してください。

アンケート回答期限：10月17日（金）

I. 基本事項

1. 課程	1. スポーツ総合課程 2. 武道課程
2. 学年	1. 1年次 2. 2年次 3. 3年次 4. 4年次 5. 5年次以上（令和3・2021年度以前入学）
3. 性別	1. 男 2. 女 3. その他または無回答

II. 生活状況

4. 住居は次のどれですか。	1. 自宅 2. アパート・マンション（父母等関係者が購入した自宅以外のマンションなどを含む。） 3. 下宿・貸間 4. 学生宿舎 5. その他（親戚宅など）
5. 朝食について	1. 毎日食べる 2. 週に4～6日食べる 3. 週に1～3日食べる 4. 食べない
6. 昼食について	1. 毎日食べる 2. 週に4～6日食べる 3. 週に1～3日食べる 4. 食べない
7. 夕食について	1. 毎日食べる 2. 週に4～6日食べる 3. 週に1～3日食べる 4. 食べない
8. 通学のための交通手段は主に何ですか。	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車 5. バス
9. 運転免許（バイクを含む）を取得していますか。	1. はい（→問10へ） 2. いいえ（→問11へ）

10. 運転免許を取得している人にお尋ねします。 (1)入学後交通違反をしたことがありますか。	1. ない (→問11へ) 2. 1回 3. 2回 4. 3回 5. 4回 6. 5回以上
(2) 交通違反をした人にお尋ねします。どんな違反でしたか。【複数選択可】	1. スピード違反 2. 酒気帯び運転 3. 駐車違反 4. 一時停止違反 5. 右左折禁止違反 6. 免許不携帯 7. シートベルト着用違反 8. その他 ()
11.入学後交通事故にあった(をした)ことがありますか。	1. ない 2. 1回 3. 2回 4. 3回 5. 4回 6. 5回以上
12.自動車(バイクを含む)を所有していますか。	1. はい (→問13へ) 2. いいえ (→問14へ)
13.自動車(バイクを含む)を所有している人にお尋ねします。任意保険に加入していますか。	1. はい 2. いいえ
14. 学修目的以外でインターネット・携帯電話・スマートフォンを1日平均どのくらい使用していますか。	1. ほとんど使用しない 2. 1時間未満 3. 1時間以上2時間未満 4. 2時間以上3時間未満 5. 3時間以上4時間未満 6. 4時間以上5時間未満 7. 5時間以上
15. 今年度、アルバイトをしたことがありますか。(していますか。)	1. ある (→問16へ) 2. ない (→問17へ)
16.15で「ある」と答えた人にお尋ねします。 (1)アルバイトの主な紹介先はどこですか。	1. 学生課(掲示板) 2. 教員 3. 友人・知人・先輩 4. アルバイト情報誌 5. その他 ()
(2)アルバイトの職種は何ですか。	1. 家庭教師・学習塾講師 2. 一般事務 3. 販売・サービス 4. 調査 5. 土木工事 6. その他 ()
(3)1週間に平均何時間くらいアルバイトをしますか。(夏休み等の長期休業期間中を除く。)	1. 2時間未満 2. 2時間以上4時間未満 3. 4時間以上6時間未満 4. 6時間以上8時間未満 5. 8時間以上10時間未満 6. 10時間以上12時間未満 7. 上記以上 (時間)
(4)アルバイトをする主な目的は何ですか。【複数選択可】	1. 社会勉強のため 2. 生活費のため 3. 学費のため 4. 課外活動の活動費のため 5. 趣味・レジャーのため 6. アルバイトそのものを楽しむため 7. その他 ()

(5) 学生生活とアルバイトとの関係はどうか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 授業を犠牲にしている 2. 教養・娯楽の時間を切り詰めている 3. 睡眠時間を切り詰めている 4. 課外活動を抑えている 5. ほとんど支障はない
17. 奨学金の貸与又は給付を受けたことがありますか。【複数選択可】	<ul style="list-style-type: none"> 1. 日本学生支援機構 2. 地方公共団体（都道府県・市区町村） 3. 民間企業・民間団体 4. いずれも受けたことはない（→問19へ）
18. 奨学金はどんな面で役に立っていますか。【複数選択可】	<ul style="list-style-type: none"> 1. 父母等関係者からの仕送りが軽減できる 2. ゆとりある生活ができる 3. 定期的な収入になる 4. アルバイトに精を出さなくてよい 5. 奨学金のおかげで勉学が成り立っている
19. 入学後トラブルにあったことがありますか。【複数選択可】	<ul style="list-style-type: none"> 1. ない（→問21へ） 2. 悪徳商法 3. 架空請求 4. アルバイト関連 5. 宗教勧誘 6. 金銭関連 7. インターネット関連 8. その他（ ）
20. 19でトラブルにあったことがあると回答された方にお尋ねします。 そのトラブルを紹介した人やきっかけは、何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 本学の学生 2. 学外者 3. インターネット上の広告など 4. SNS上でのやり取り 5. その他（ ）

Ⅲ. 健康状態

<p>21. 現在の健康状態はどうか。</p>	<p>1. 良好 (→問23へ) 2. やや不調 (→問22へ) 3. 不調 (→問22へ)</p>
<p>22. 21で「やや不調」「不調」と答えた人にお尋ねします。 その原因は何ですか。【複数選択可】</p>	<p>1. 睡眠不足 2. 食生活の乱れ 3. 不規則な生活 4. 課外活動による疲労 5. 精神的な悩みや不安 6. その他 ()</p>
<p>23. 本年4月以降、病気・ケガをしましたか。 【複数選択可】</p>	<p>1. いいえ 2. 風邪 3. 感染症 (インフルエンザ、新型コロナウイルスなど) 4. 循環器 (心臓・血圧) 5. 精神疾患 6. 消化器 (胃腸・肝臓) 7. 呼吸器系 8. 泌尿器・生殖器 (腎臓・膀胱・前立腺) 9. 外傷 (切り傷・擦り傷・打撲) 10. 捻挫 11. 骨折 12. 火傷 13. 歯 14. その他 ()</p>
<p>24. 現在、悩みや不安がありますか。</p>	<p>1. 特にない (→問26へ) 2. 多少あるが問題はない (→問26へ) 3. ある</p>
<p>25. 24で「ある」と答えた人にお尋ねします。 (1)あなたの持っている悩みや不安はどんなことですか。【複数選択可】</p>	<p>1. 勉学 2. 進路・就職 3. 経済的理由 4. 友人関係 5. 異性関係 6. 身体的不調 7. 家族との関係 8. 課外活動 9. 政治社会問題 10. 自分の性格 11. 人生観 12. アルバイト関係 13. その他 ()</p>
<p>(2)あなたの悩みについて相談できる身近な人がいますか。</p>	<p>1. いる 2. いない</p>
<p>(3)(2)の設問で相談できる人が「いる」と答えた人にお尋ねします。 次のどの人に相談しますか。【複数選択可】</p>	<p>1. 家族・親戚 2. 友人・先輩 3. 中高の時の先生 4. 小クラス・ゼミ担当教員 5. 課外活動の顧問教員 6. 4・5以外の教員 7. 保健管理センター・学生支援室や学内心理カウンセラー 8. 学外のカウンセラーや医者などの専門家 9. その他 ()</p>
<p>26. 日頃健康上心がけていることは何ですか。</p>	<p>1. 食事 2. 睡眠 3. 特にない 4. その他 ()</p>
<p>27. 就寝時間は何時ごろですか。</p>	<p>1. 午後10時以前 2. 午後10時～11時 3. 午後11時～午前0時 4. 午前0時～午前1時 5. 午前1時以降</p>

28.起床時間は何時ごろですか。	1. 午前4時以前 2. 午前4時～5時 3. 午前5時～6時 4. 午前6時～7時 5. 午前7時～8時 6. 午前8時以降
29.平均睡眠時間はどれくらいですか。	1. 4時間以下 2. 5時間程度 3. 6時間程度 4. 8時間程度 5. 9時間以上
30. お酒をどのくらい飲みますか。	1. 全く飲まない 2. ほとんど飲まない 3. 週に数回飲む 4. ほぼ毎日飲む
31. タバコは吸いますか。	1. 吸わない 2. 1日に5本未満 3. 1日に5～10本 4. 1日に11本～20本 5. 1日に20本以上

IV. 課外活動状況

32. 大学における課外活動をどう思いますか。	1. 必要 2. あるほうがよい 3. あまり必要でない 4. 不要
33.課外活動に加入していますか。	1. 加入している (→問34へ) 2. 以前は加入していたが現在は加入していない (→問35へ) 3. 入学時から加入していない (→問36へ)
34. 33. で「1. 加入している」と回答した人にお尋ねします。 (1) 課外活動に加入した動機は何ですか。 【複数選択可】	1. 自分の専門性を生かすため 2. 健康・教養のため 3. 競技力向上を図るため 4. 友人を得るため 5. その他 ()
(2) 1日あたり平均何時間くらい活動していますか。(遠征、試合等を除く)	(時間)
(3)課外活動と学業は両立できていますか。	1. 両立できている 2. 学業が少し犠牲になっている 3. 学業がかなり犠牲になっている
(4)課外活動に満足していますか。	1. 満足している 2. まあまあ満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない
(5)(4)で「あまり満足していない」「満足していない」と答えた人にお尋ねします。 その理由は何ですか。【複数選択可】	1. 施設が足りない 2. 良い指導者がいない 3. 施設が自由に使えない 4. 練習時間が足りない 5. その他 ()
35. 33. で「2. 以前は加入していたが現在は加入していない」と回答した人にお尋ねします。 その理由は何ですか?【複数選択可】	1. 学業の妨げとなる 2. 健康上の理由 3. 経済的理由 4. 束縛されたくない 5. 内容に満足できない 6. 顧問教員等との関係上の理由 7. 部員との関係上の理由

	8. その他 ()
36. 入学時から課外活動に参加していない人にお尋ねします。その理由は何ですか。【複数選択可】	1. 学業の妨げとなる 2. 健康上の理由 3. 自分に適した課外活動団体がない 4. 経済的理由 5. 束縛されたくない 6. その他 ()

V. 大学生生活の状況

<p>37. あなたは鹿屋体育大学生であることに誇りを持っていますか。</p>	<p>1. 持っている 2. 持っていない</p>
<p>38. あなたにとって、大学はどのようなところですか。【複数選択可】</p>	<p>1. 学問をするところ 2. 競技力を高めるところ 3. 将来社会で生かすことのできる専門的な知識・技能を身につけるところ 4. 社会人としての一般的な教養を身につけるところ 5. 自分のやりたいことができるところ 6. 友人を得るところ 7. 学歴を得るところ 8. 特に考えていない</p>
<p>39. 現在の学生生活の中心になっているものは何ですか。 (※) 集計時は、部活動の加入の有無に分けた集計も行う</p>	<p>1. 学業 2. 課外活動 3. 交友関係 4. レジャー 5. アルバイト 6. 特になし</p>
<p>40. 現在の学生生活は充実していますか。 (※) 集計時は、部活動の加入の有無に分けた集計も行う</p>	<p>1. かなり充実している 2. どちらかといえば充実している 3. どちらかといえば充実していない 4. 充実していない</p>
<p>41. 充実している点をすべて挙げてください。【複数選択可】</p>	<p>1. 学業 2. 課外活動 3. 交友関係 4. レジャー 5. アルバイト</p>
<p>42. 充実していない点をすべて挙げてください。【複数選択可】</p>	<p>1. 学業 2. 課外活動 3. 交友関係 4. レジャー 5. アルバイト</p>
<p>43. ボランティア活動をしていますか。</p>	<p>1. 現在している (→問44へ) 2. 以前したことがある (→問44へ) 3. していない (→問45へ) 4. 将来的にはしてみたい (→問45へ)</p>
<p>44. 43で「現在している」「以前したことがある」と答えた人にお尋ねします。 その内容はどれですか。【複数選択可】</p>	<p>1. 障害児・障害者に係わる活動 2. 学校等でのスポーツ指導 3. 高齢者に係わる活動 4. 環境美化活動 5. 募金活動 6. 国際交流活動 7. 災害等の復興支援活動 8. その他 ()</p>
<p>45. 43で「していない」「将来的にはしてみたい」と答えた人にお尋ねします。 その主な理由は何ですか。【複数選択可】</p>	<p>1. 参加したいボランティア活動が見つからない 2. 参加したいボランティア活動はあるが、時間がない 3. 情報やきっかけがない 4. 関心がない</p>
<p>46. 海外留学についてどう思いますか。 【複数選択可】</p>	<p>1. 語学を目的として留学したい 2. 専門分野の研究を目的として留学したい 3. 競技力向上のために留学したい 4. 留学したいとは思わない</p>

VI. ハラスメント

<p>47. 大学入学後ハラスメントを受けたことがありますか。</p>	<p>1. ある (→問48へ) 2. ない (→問49へ)</p>
<p>48.47で「ある」と答えた人にお尋ねします。 (1) どのような人からハラスメントを受けましたか。【複数選択可】</p>	<p>1. 先輩 2. 同級生 3. 後輩 4. 小クラス・ゼミ担当教員 5. 課外活動の顧問教員 6. 4・5以外の教員 7. 事務職員 8. その他 ()</p>
<p>(2) ハラスメントに対してあなたはどのように対応しましたか。【複数選択可】</p>	<p>1. 特に何もしなかった 2. 拒否や抗議をした 3. 冗談で済まそうとした 4. 無視した 5. 考えないようにした 6. 相手を避けようとした 7. 誰かに相談した 8. その他 ()</p>
<p>(3) 相談した人は誰でしたか。【複数選択可】</p>	<p>1. 学内のハラスメント相談員 2. 家族・親類 3. 友人・先輩 4. 教員 5. 事務職員 6. 相談しなかった 7. その他 ()</p>
<p>(4) ハラスメントはあなたにとってどんな影響がありましたか。【複数選択可】</p>	<p>1. 進路の決定, 成績の判定, 選手選考で不利な扱いを受けた。 2. 課外活動や研究室での人間関係が悪くなった。 3. 大学に行くのが嫌になった。 4. 勉強(研究)する気がなくなった。 5. 憂鬱感, 不安感など精神的に不安定になった。 6. 不眠や食欲不振など体調を崩した。 7. 特に影響はなかった。 8. その他 ()</p>
<p>49. 全員にお聞きします。 ハラスメント問題について, 大学にどのような対応をとってほしいですか。【複数選択可】</p>	<p>1. 講演会などハラスメントに関する学内の啓発を進めてほしい 2. ハラスメントに関する教育を学生のカリキュラムの中に組み込んでほしい 3. 被害者の心のケアのためのカウンセリング体制を整備してほしい 4. 大学の対応には関心がない 5. その他(具体的に:)</p>
<p>50. 本学にハラスメント相談窓口があり, ハラスメント相談員が置かれているのを知っていますか。</p>	<p>1. 知っていて相談したことがある 2. 知っているが相談したことはない 3. 知らない</p>

VII. 学内施設利用状況

<p>51. 学生食堂での食事をどのくらい利用していますか。</p>	<p>1. ほぼ毎日利用している 2. 週3～4日程度利用している 3. 週1～2日程度利用している 4. ほとんど利用していない 5. 利用したことがない</p>
<p>52. 51で「ほとんど利用していない」と答えた人にお尋ねします。 その理由は何ですか。【複数選択可】</p>	<p>1. 混雑している 2. 待ち時間が長い 3. メニューが少ない 4. 美味しくない 5. 弁当を持参している 6. その他()</p>
<p>53. 売店をどのくらい利用していますか。</p>	<p>1. ほぼ毎日利用している 2. 週3～4日程度利用している 3. 週1～2日程度利用している 4. ほとんど利用していない 5. 利用したことがない</p>
<p>54. 売店の利用目的は次のどれですか。 【複数選択可】</p>	<p>1. 書籍・雑誌・教科書・文房具類の購入 2. スポーツ用品の購入 3. 食料品の購入 4. 日用雑貨類・切手・はがきの購入 5. クリーニング等の取次申込</p>
<p>55. 学内の理美容室を利用していますか。</p>	<p>1. ほぼ毎月利用している 2. 2～3ヶ月に1回程度利用している 3. 4～6ヶ月に1回程度利用している 4. ほとんど利用していない 5. 利用したことがない</p>
<p>56. 学生食堂、NIFS Gallery、学生ラウンジ、附属図書館閲覧室などの学内の修学スペースをどのくらい利用していますか。</p>	<p>1. ほぼ毎日利用している 2. 週3～4日程度利用している 3. 週1～2日程度利用している 4. 試験前やレポート課題があるときには利用している 5. ほとんど利用していない 6. 利用したことがない</p>
<p>57. 学内のATMを利用していますか。</p>	<p>1. ほぼ毎月利用している 2. 2～3ヶ月に1回程度利用している 3. 4～6ヶ月に1回程度利用している 4. ほとんど利用していない 5. 利用したことがない</p>

VIII. 大学に対しての要望（学生生活全般，施設設備，課外活動等）や期待することがあれば，記入してください。

.....

.....

.....

.....

.....

IX. 大学に対する満足度

58. 総合して、あなたは学生として、今の鹿屋体育大学に満足していますか？	<ol style="list-style-type: none">1. 大変満足している2. 満足している3. どちらともいえない4. 不満である5. 大変不満である
---------------------------------------	--

学生生活アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

学生生活アンケート調査（大学院）

令和7年10月
鹿屋体育大学学生委員会

このアンケートは、あなたの学生生活の実態を知り、今後における学生諸君の課外活動及び健康管理などの福利厚生について、学生生活の充実を図るための参考とするものです。また、このアンケートは無記名で行うものであり、ありのままを記入してください。

なお、アンケート結果については、本学の学生支援・修学支援に係る施策に利用いたしますので、あらかじめご承知おきください。その他の目的に利用することはありません。

回答記入上の注意

1. 回答は無記名とし、令和7年10月1日現在で記入してください。
2. 回答は原則として1つですが、【複数選択可】と記載されている場合、あてはまるものをすべて選択してください。
3. 質問事項で該当する回答項目がない場合は、できるだけ近いものを選んで回答してください。
4. 「その他」を選んだときは、具体的な内容を記入してください。また、設問によっては、必要事項を記入するものがありますので、注意してください。

アンケート回答期限：10月17日（金）

I. 基本事項

1. 課程	1. 修士課程 2. 博士後期課程または3年制博士課程
2. 学年	1. 1年次 2. 2年次 3. 3年次
3. 性別	1. 男 2. 女 3. その他または無回答

II. 生活状況

4. 住居は次のどれですか。	1. 自宅 2. アパート・マンション（父母等関係者が購入した自宅以外のマンションなどを含む。） 3. 下宿・貸間 4. 学生宿舎 5. その他（親戚宅など）
5. 朝食について	1. 毎日食べる 2. 週に4～6日食べる 3. 週に1～3日食べる 4. 食べない
6. 昼食について	1. 毎日食べる 2. 週に4～6日食べる 3. 週に1～3日食べる 4. 食べない
7. 夕食について	1. 毎日食べる 2. 週に4～6日食べる 3. 週に1～3日食べる 4. 食べない
8. 通学のための交通手段は主に何ですか。	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車 5. バス
9. 運転免許（バイクを含む）を取得していますか。	1. はい（→問10へ） 2. いいえ（→問11へ）

10. 運転免許を取得している人にお尋ねします。 (1)入学後交通違反をしたことがありますか。	1. ない 2. 1回 3. 2回 4. 3回 5. 4回 6. 5回以上
(2) 交通違反をした人にお尋ねします。どんな違反でしたか。【複数選択可】	1. スピード違反 2. 酒気帯び運転 3. 駐車違反 4. 一時停止違反 5. 右左折禁止違反 6. 免許不携帯 7. シートベルト着用違反 8. その他 ()
11.入学後交通事故にあった(をした) ことがありますか。	1. ない 2. 1回 3. 2回 4. 3回 5. 4回 6. 5回以上
12.自動車(バイクを含む)を所有していますか。	1. はい (→問13へ) 2. いいえ (→問14へ)
13.自動車(バイクを含む)を所有している人にお尋ねします。任意保険に加入していますか。	1. はい 2. いいえ
14. 学修目的以外でインターネット・携帯電話・スマートフォンを1日平均どのくらい使用していますか。	1. ほとんど使用しない 2. 1時間未満 3. 1時間以上2時間未満 4. 2時間以上3時間未満 5. 3時間以上4時間未満 6. 4時間以上5時間未満 7. 5時間以上
15. 現在、常勤または非常勤で勤務している就業先がありますか？ ※大学院のみの項目	1. ある 2. ない
16. 今年度、アルバイトをしたことがありますか。(していますか。)	1. ある (→問17へ) 2. ない (→問18へ)
17.16で「ある」と答えた人にお尋ねします。 (1)アルバイトの主な紹介先はどこですか。	1. 学生課(掲示板) 2. 教員 3. 友人・知人・先輩 4. アルバイト情報誌 5. その他 ()
(2)アルバイトの職種は何ですか。	1. 家庭教師・学習塾講師 2. 一般事務 3. 販売・サービス 4. 調査 5. 土木工事 6. その他 ()
(3)1週間に平均何時間くらいアルバイトをしますか。(夏休み等の長期休業期間中を除く。)	1. 2時間未満 2. 2時間以上4時間未満 3. 4時間以上6時間未満 4. 6時間以上8時間未満 5. 8時間以上10時間未満 6. 10時間以上12時間未満 7. 上記以上 () 時間)

<p>(4)アルバイトをする主な目的は何ですか。【複数選択可】</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会勉強のため 2. 生活費のため 3. 学費のため 4. 課外活動の活動費のため 5. 趣味・レジャーのため 6. アルバイトそのものを楽しむため 7. その他 ()
<p>(5)学生生活とアルバイトとの関係はどうですか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業を犠牲にしている 2. 教養・娯楽の時間を切り詰めている 3. 睡眠時間を切り詰めている 4. 課外活動を抑えている 5. ほとんど支障はない
<p>18. 奨学金の貸与又は給付を受けたことがありますか。【複数選択可】</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本学生支援機構 2. 地方公共団体（都道府県・市区町村） 3. 民間企業・民間団体 4. いずれも受けたことはない（→問20へ）
<p>19. 奨学金はどんな面で役に立っていますか。【複数選択可】</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 父母等関係者からの仕送りが軽減できる 2. ゆとりある生活ができる 3. 定期的な収入になる 4. アルバイトに精を出さなくてよい 5. 奨学金のおかげで勉学が成り立っている
<p>20. 入学後トラブルにあったことがありますか。【複数選択可】</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ない（→問22へ） 2. 悪徳商法 3. 架空請求 4. アルバイト関連 5. 宗教勧誘 6. 金銭関連 7. インターネット関連 8. その他 ()
<p>21. 19でトラブルにあったことがあると回答された方にお尋ねします。 そのトラブルを紹介した人やきっかけは、何ですか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本学の学生 2. 学外者 3. インターネット上の広告など 4. SNS上でのやり取り 5. その他 ()

Ⅲ. 健康状態

22. 現在の健康状態はどうですか。	1. 良好 (→問24へ) 2. やや不調 (→問23へ) 3. 不調 (→問23へ)
23. 22で「やや不調」「不調」と答えた人にお尋ねします。 その原因は何ですか。【複数選択可】	1. 睡眠不足 2. 食生活の乱れ 3. 不規則な生活 4. 課外活動による疲労 5. 精神的な悩みや不安 6. その他 ()
24. 本年4月以降、病気・ケガをしましたか。【複数選択可】	1. いいえ 2. 風邪 3. 感染症 (インフルエンザ、新型コロナウイルスなど) 4. 循環器 (心臓・血圧) 5. 精神疾患 6. 消化器 (胃腸・肝臓) 7. 呼吸器系 8. 泌尿器・生殖器 (腎臓・膀胱・前立腺) 9. 外傷 (切り傷・擦り傷・打撲) 10. 捻挫 11. 骨折 12. 火傷 13. 歯 14. その他 ()
25. 現在、悩みや不安がありますか。	1. 特にない (→問27へ) 2. 多少あるが問題はない (→問27へ) 3. ある (→問26へ)
26. 25で「ある」と答えた人にお尋ねします。 (1)あなたの持っている悩みや不安はどんなことですか。【複数選択可】	1. 勉学 2. 進路・就職 3. 経済的理由 4. 友人関係 5. 異性関係 6. 身体的不調 7. 家族との関係 8. 課外活動 9. 政治社会問題 10. 自分の性格 11. 人生観 12. アルバイト関係 13. その他 ()
(2)あなたの悩みについて相談できる身近な人がいますか。	1. いる 2. いない
(3)(2)の設問で相談できる人が「いる」と答えた人にお尋ねします。 次のどの人に相談しますか。【複数選択可】	1. 家族・親戚 2. 友人・先輩 3. 中高の時の先生 4. 小クラス・ゼミ担当教員 5. 課外活動の顧問教員 6. 4・5以外の教員 7. 保健管理センター・学生支援室や学内心理カウンセラー 8. 学外のカウンセラーや医者などの専門家 9. その他 ()
27. 日頃健康上心がけていることは何ですか。	1. 食事 2. 睡眠 3. 特にない 4. その他 ()
28. 就寝時間は何時ごろですか。	1. 午後10時以前 2. 午後10時～11時 3. 午後11時～午前0時 4. 午前0時～午前1時 5. 午前1時以降

29.起床時間は何時ごろですか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 午前4時以前 2. 午前4時～5時 3. 午前5時～6時 4. 午前6時～7時 5. 午前7時～8時 6. 午前8時以降
30.平均睡眠時間はどれくらいですか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 4時間以下 2. 5時間程度 3. 6時間程度 4. 8時間程度 5. 9時間以上
31. お酒をどのくらい飲みますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 全く飲まない 2. ほとんど飲まない 3. 週に数回飲む 4. ほぼ毎日飲む
32. タバコは吸いますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1. 吸わない 2. 1日に5本未満 3. 1日に5～10本 4. 1日に11本～20本 5. 1日に20本以上

IV. 課外活動状況

<p>33. 大学における課外活動をどう思いますか。</p>	<p>1. 必要 2. あるほうがよい 3. あまり必要でない 4. 不要</p>
<p>34. 課外活動に加入していますか。</p>	<p>1. 加入している (→問34へ) 2. 以前は加入していたが現在は加入していない (→問35へ) 3. 入学時から加入していない (→問36へ)</p>
<p>35. 34. で「1. 加入している」と回答した人にお尋ねします。 (1) 課外活動に加入した動機は何ですか。 【複数選択可】</p>	<p>1. 自分の専門性を生かすため 2. 健康・教養のため 3. 競技力向上を図るため 4. 友人を得るため 5. その他 ()</p>
<p>(2) 1日あたり平均何時間くらい活動していますか。(遠征、試合等を除く)</p>	<p>(時間)</p>
<p>(3) 課外活動と学業は両立できていますか。</p>	<p>1. 両立できている 2. 学業が少し犠牲になっている 3. 学業がかなり犠牲になっている</p>
<p>(4) 課外活動に満足していますか。</p>	<p>1. 満足している 2. まあまあ満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない</p>
<p>(5) (4) で「あまり満足していない」「満足していない」と答えた人にお尋ねします。 その理由は何ですか。【複数選択可】</p>	<p>1. 施設が足りない 2. 良い指導者がいない 3. 施設が自由に使えない 4. 練習時間が足りない 5. その他 ()</p>
<p>36. 34. で「2. 以前は加入していたが現在は加入していない」と回答した人にお尋ねします。 その理由は何ですか?【複数選択可】</p>	<p>1. 学業の妨げとなる 2. 健康上の理由 3. 経済的理由 4. 束縛されたくない 5. 内容に満足できない 6. 顧問教員等との関係上の理由 7. 部員との関係上の理由 8. その他 ()</p>
<p>37. 入学時から課外活動に加入していない人にお尋ねします。その理由は何ですか。【複数選択可】</p>	<p>1. 学業の妨げとなる 2. 健康上の理由 3. 自分に適した課外活動団体がない 4. 経済的理由 5. 束縛されたくない 6. その他 ()</p>

V. 大学生生活の状況

<p>38. あなたは鹿屋体育大学生であることに誇りを持っていますか。</p>	<p>1. 持っている 2. 持っていない</p>
<p>39. あなたにとって、大学はどのようなところですか。【複数選択可】</p>	<p>1. 学問をするところ 2. 競技力を高めるところ 3. 将来社会で生かすことのできる専門的な知識・技能を身につけるところ 4. 社会人としての一般的な教養を身につけるところ 5. 自分のやりたいことができるところ 6. 友人を得るところ 7. 学歴を得るところ 8. 特に考えていない</p>
<p>40. 大学院への進学理由は何ですか。【複数選択可】 ※大学院のみの項目</p>	<p>1. 学部で学んだ学問をさらに探求したいから 2. 就職するために必要な、より深い知識を得るため 3. 研究者を目指しているから 4. 就職する意思がなかったから 5. 就職できそうになかったから 6. 現在の仕事において、スキルアップを図るため 7. 学位、資格を取得するため 8. その他 ()</p>
<p>41. 現在の学生生活の中心になっているものは何ですか。</p>	<p>1. 学業 2. 課外活動 3. 交友関係 4. レジャー 5. 仕事 (※大学院のみの項目) 6. アルバイト 7. 特になし</p>
<p>42. 現在の学生生活は充実していますか。</p>	<p>1. かなり充実している 2. どちらかといえば充実している 3. どちらかといえば充実していない 4. 充実していない</p>
<p>43. 現在の学生生活において、充実している点をすべて挙げてください。【複数選択可】</p>	<p>1. 学業 2. 課外活動 3. 交友関係 4. レジャー 5. 仕事 (※大学院のみの項目) 6. アルバイト</p>
<p>44. 現在の学生生活において、充実していない点をすべて挙げてください。【複数選択可】</p>	<p>1. 学業 2. 課外活動 3. 交友関係 4. レジャー 5. 仕事 (※大学院のみの項目) 6. アルバイト</p>
<p>45. ボランティア活動をしていますか。</p>	<p>1. 現在している (→問46へ) 2. 以前したことがある (→問46へ) 3. していない (→問47へ) 4. 将来的にはしてみたい (→問47へ)</p>
<p>46. 45で「現在している」「以前したことがある」と答えた人にお尋ねします。その内容はどれですか。【複数選択可】</p>	<p>1. 障害児・障害者に係わる活動 2. 学校等でのスポーツ指導 3. 高齢者に係わる活動 4. 環境美化活動 5. 募金活動 6. 国際交流活動 7. 災害等の復興支援活動 8. その他 ()</p>

<p>47. 45で「していない」「将来的にはしてみたい」と答えた人にお尋ねします。 その主な理由は何ですか。【複数選択可】</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 参加したいボランティア活動が見つからない 2. 参加したいボランティア活動はあるが、時間がない 3. 情報やきっかけがない 4. 関心がない
<p>48. 海外留学についてどう思いますか。 【複数選択可】</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 語学を目的として留学したい 2. 専門分野の研究を目的として留学したい 3. 競技力向上のために留学したい 4. 留学したいとは思わない

VI. ハラスメント

<p>49. 大学入学後ハラスメントを受けたことがありますか。</p>	<p>1. ある (→問50へ) 2. ない (→問51へ)</p>
<p>50.49で「ある」と答えた人にお尋ねします。 (1) どのような人からハラスメントを受けましたか。【複数選択可】</p>	<p>1. 先輩 2. 同級生 3. 後輩 4. 指導教員・副指導教員 5. 課外活動の顧問教員 6. 4・5以外の教員 7. 事務職員 8. その他 ()</p>
<p>(2) ハラスメントに対してあなたはどのように対応しましたか。【複数選択可】</p>	<p>1. 特に何もしなかった 2. 拒否や抗議をした 3. 冗談で済まそうとした 4. 無視した 5. 考えないようにした 6. 相手を避けようとした 7. 誰かに相談した 8. その他 ()</p>
<p>(3) 相談した人は誰でしたか。【複数選択可】</p>	<p>1. 学内のハラスメント相談員 2. 家族・親類 3. 友人・先輩 4. 教員 5. 事務職員 6. 相談しなかった 7. その他 ()</p>
<p>(4) ハラスメントはあなたにとってどんな影響がありましたか。【複数選択可】</p>	<p>1. 進路の決定、成績の判定、論文指導、選手選考で不利な扱いを受けた。 2. 課外活動や研究室での人間関係が悪くなった。 3. 大学に行くのが嫌になった。 4. 勉強(研究)する気がなくなった。 5. 憂鬱感、不安感など精神的に不安定になった。 6. 不眠や食欲不振など体調を崩した。 7. 特に影響はなかった。 8. その他 ()</p>
<p>51. 全員にお聞きします。 ハラスメント問題について、大学にどのような対応をとってほしいですか。【複数選択可】</p>	<p>1. 講演会などハラスメントに関する学内の啓発を進めてほしい 2. ハラスメントに関する教育を学生のカリキュラムの中に組み込んでほしい 3. 被害者の心のケアのためのカウンセリング体制を整備してほしい 4. 大学の対応には関心がない 5. その他(具体的に:)</p>
<p>52. 本学にハラスメント相談窓口があり、ハラスメント相談員が置かれているのを知っていますか。</p>	<p>1. 知っていて相談したことがある 2. 知っているが相談したことはない 3. 知らない</p>

VII. 学内施設利用状況

<p>53. 学生食堂をどのくらい利用していますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ毎日利用している 2. 週3～4日程度利用している 3. 週1～2日程度利用している 4. ほとんど利用していない 5. 利用したことがない
<p>54. 53で「ほとんど利用していない」と答えた人にお尋ねします。 その理由は何ですか。【複数選択可】</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 混雑している 2. 待ち時間が長い 3. メニューが少ない 4. 美味しくない 5. 弁当を持参している 6. その他 ()
<p>55. 売店をどのくらい利用していますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ毎日利用している 2. 週3～4日程度利用している 3. 週1～2日程度利用している 4. ほとんど利用していない 5. 利用したことがない
<p>56. 売店の利用目的は次のどれですか。【複数選択可】</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 書籍・雑誌・教科書・文房具類の購入 2. スポーツ用品の購入 3. 食料品の購入 4. 日用雑貨類・切手・はがきの購入 5. クリーニング等の取次申込
<p>57. 学内の理美容室を利用していますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ毎月利用している 2. 2～3ヶ月に1回程度利用している 3. 4～6ヶ月に1回程度利用している 4. ほとんど利用していない 5. 利用したことがない
<p>58. 学内のATMを利用していますか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ毎月利用している 2. 2～3ヶ月に1回程度利用している 3. 4～6ヶ月に1回程度利用している 4. ほとんど利用していない 5. 利用したことがない

VIII. 大学に対しての要望（学生生活全般，施設設備，課外活動等）や期待することがあれば，記入してください。

.....

.....

.....

.....

.....

IX. 大学に対する満足度

59. 総合して、あなたは学生として、今の鹿屋体育大学に満足していますか？	<ol style="list-style-type: none">1. 大変満足している2. 満足している3. どちらともいえない4. 不満である5. 大変不満である
---------------------------------------	--

学生生活アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

National
Institute of
Fitness and
Sports
In KANOYA